

TAKEの歌詞集 もくじ

- 181. たそがれ並木道 (2023) 64 歳
- 180. 忘れたはずのなごり雪 (2023) 64 歳

- 179. シャドウ (2021) 62 歳
- 178. 備忘録 (2021) 62 歳
- 177. ZIPPO (2021) 62 歳
- 176. とまと (2021) 62 歳
- 175. 梅酒 (2018) 59 歳
- 174. そふらん (2018) 59 歳
- 173. 青い夜 (2018) 59 歳
- 172. 未来イメージ (2017) 58 歳
- 171. つうこうど (2017) 58 歳
- 170. 朝のるーていん (2017) 58 歳
- 169. おつかれさま (2017) 58 歳
- 168. 背骨胸骨第5番 (2017) 58 歳
- 167. 魔法使いになりたい (2017) 58 歳
- 166. あの子の赤い風船 (2017) 58 歳
- 165. 凶星 (2017) 58 歳
- 164. 卵焼きとおにぎり (2017) 58 歳
- 163. きっかけの魔法 (2017) 58 歳
- 162. 幸せを呼ぶ言葉 (2017) 58 歳
- 161. 縁側 (栗林葉子作詞・作曲)
- 160. たいしたことじゃないんだ (2017) 58 歳
- 159. ジョハリの窓 (2017) 58 歳
- 158. 虹 (2017) 58 歳
- 157. 不思議 (2016) 57 歳
- 156. あのね ましえり (2016) 57 歳
- 155. ライブでは唄わないだろう歌 (2016) 57 歳
- 154. 断捨離 (2016) 57 歳
- 153. ゆっくりタバコを吸おう (2016) 57 歳
- 152. ずっと (2016) 57 歳
- 151. 贈り物 ~Happy birthday~ (2016) 57 歳
- 150. 闇無 (2016) 57 歳
- 149. 金縛り (2016) 57 歳
- 148. それから (2016) 57 歳
- 147. ひまわり (2016) 57 歳
- 146. シン・ウイルス (2016) 57 歳

【63 歳 作品なし】

- 145. 暑い夏の日の夢(2016) 57歳
- 144. まいったな ましえり(2016) 57歳
- 143. 蒼々花(2016) 57歳
- 142. ちゃんす(2016) 57歳
- 141. 熱帯夜(2016) 57歳
- 140. シャボン玉ふたつ(2016) 57歳

【54歳～56歳 作品なし】

- 139. 5W1H(2012) 53歳
- 138. 糸(2011) 52歳
- 137. あいたい(2011) 52歳
- 136. ほたる(2010) 51歳
- 135. こそあど(2010) 51歳
- 134. せんちめんたるじゃあにい西新(2010) 51歳
- 133. 五文字の呪文(2010) 51歳
- 132. 野の花(2010) 51歳
- 131. 夜を歩くH○(2010) 51歳
- 130. S○(2010) 51歳
- 129. 鯛味噌(2010) 51歳
- 128. さいれんと(2010) 51歳
- 127. おやすみ～風景画～(2010) 51歳
- 126. 墮天使(2010) 51歳
- 125. 都合ばかりの言い訳として～卑怯者の唄～(2010) 51歳
- 124. ぴえろ～描かれた君～(2010) 51歳
- 123. 行き止まりの散歩道～五十路～(2010) 51歳
- 122. …と誰かが言った。(2010) 51歳
- 121. 君に逢いに行こう(2010) 51歳
- 120. うすき竹宵(2010) 51歳
- 119. 善良なる卑怯者(2010) 51歳
- 118. 我が心 抱きしめて(2010) 51歳
- 117. ちちんぷいぷい ぽこぽこぺんぺん(2009) 50歳
- 116. 思わぬところで躓いた(2009) 50歳
- 115. 蜻蛉に寄す(2009) 50歳
- 114. みっちゃん(2009) 50歳
- 113. 防波堤にて(2009) 50歳
- 112. でいらん(2009) 50歳
- 111. オニオンスライス(2009) 50歳

【47歳～49歳作品なし】

- 110. 一番星(2005) 46歳

109. 土 (2004) 45 歳
108. MOMO・2004夏 (2004) 45 歳
107. 唄うたいの歌 (2004) 45 歳
106. 春宵感懐 (2004) 45 歳
105. 雀のかあさん (2004) 45 歳
104. 天の川 (2003) 44 歳
103. たんぽぽ (2002) 43 歳
102. 夏が過ぎたら・・・ (2001) 42 歳
101. 不器用な大人たちへの子守唄 (2001) 42 歳
100. 向陽台 (2001) 42 歳
99. ふうさんの恋の唄 (2001) 42 歳
98. やっさんの恋の唄 (2001) 42 歳
97. 別府日本旅館「伊賀屋」にて (2001) 42 歳
96. いつも (2001) 42 歳
95. 星とたんぽぽ (2001) 42 歳
94. September in Lancaster (2001) 42 歳
93. 秋日慕情 (2001) 42 歳
92. 風を感じて (2001) 42 歳
91. 夏の宵 (2001) 42 歳
90. 古都の花 (2001) 42 歳
89. 吉野の里に (2001) 42 歳
88. 虹・夕焼け・流れ星 (2001) 42 歳
87. 想い道 (2001) 42 歳
86. 想いを語れ (2001) 42 歳
85. からから... (2001) 42 歳
84. やってみんさい... (2001) 42 歳
83. 私は誰でしょう? (2001) 42 歳
82. 夜想曲 (2001) 42 歳
81. あっくんの旅 (2001) 42 歳
80. 焚き木 (2001) 42 歳
79. なんとなくⅡ (2001) 42 歳
78. ごらん?... (2001) 42 歳
77. 少し ゆっくり (2001) 42 歳
76. あなたに逢えて (2001) 42 歳
75. 春爛漫 (2001) 42 歳
74. 春かな? (2001) 42 歳
73. 寺子屋HIROへ (2001) 42 歳
72. 駄菓子屋YASUから (2001) 42 歳

71. 明日は雪かな (2001) 42 歳
70. 寒い寒いこんな夜 (2000) 41 歳
69. ねえ マスター (2000) 41 歳
68. わたしと小鳥とすずと (1999) 40 歳
67. 人の値打ち (1999) 40 歳
66. 私が先生になったとき (1999) 40 歳
65. 直入旅情 (1999) 40 歳
64. 真玉慕情 (1998) 39 歳
63. また会うためにさようなら (1998) 39 歳
62. 香々地伝説 (1998) 39 歳
61. 恋の唄 (1997) 38 歳
60. 今日一日生きた分だけ (1997) 38 歳
59. うんざり (1996) 37 歳
58. ぴすたちお (1996) 37 歳
57. 近頃うつむきかげんの人へ (1996) 37 歳
56. 辛抱せえよ (1996) 37 歳
55. 冷や汁 (1995) 36 歳
54. 蛍 (1995) 36 歳
53. 酔舞 (1995) 36 歳
52. 幸福の雫 (1994) 35 歳
51. 君が空へとけた (1994) 35 歳
50. 飲み会の情景 I (1994) 35 歳
49. 酔っぱらい数え唄 (1994) 35 歳
48. ものろうぐ (1993) 34 歳
47. 吟醸酒 (1993) 34 歳
46. あなたに似合いの明日があるさ (1993) 34 歳
45. 新しい唄を今 (1993) 34 歳
44. おいらの声どこまで (1992) 33 歳
43. 素直な心と勇気があれば (1991) 32 歳
42. 翼をひろげて (1990) 31 歳
41. 新曲 (1990) 31 歳
40. 昔この店このテーブルで (1989) 30 歳
39. 沙織・一才九ヵ月 (1986) 27 歳
38. 1984年11月3日文香 (1984) 25 歳
37. すっからかん (1983) 24 歳
36. あとの祭り (1983) 24 歳

【28 歳～29 歳作品なし】

【26 歳作品なし】

35. インフルエンザB型 (1983) 24 歳
34. ぷらいべえと (1983) 24 歳
33. それでも わからないことは (1983) 24 歳
32. たいくつしのぎ (1982) 23 歳
31. Mに贈る (1982) 23 歳
30. 親父の唄 (1982) 23 歳
29. やだよ (1981) 22 歳
28. S (1981) 22 歳
27. 元気かい (1981) 22 歳
26. 僕と君は (1981) 22 歳
25. おいらの声がきこえたら (1980) 21 歳
24. 両手をたたいておくれ (1980) 21 歳
23. お金はないけれど (1980) 21 歳
22. ゆくあてなしは 倅せゆきへ (1980) 21 歳
21. ポニーテール (1979) 20 歳
20. 明日の雨に (1979) 20 歳
19. 夕焼け見てたら (1979) 20 歳
18. ピエロのように (1979) 20 歳
17. いくじなし (1978) 19 歳
16. 羅版亜汁 (1978) 19 歳
15. 風邪ひきさん (1978) 19 歳
14. 夜更けの街から (1978) 19 歳
13. 酒を飲まずに (1978) 19 歳
12. Mr. K (1978) 19 歳
11. 午前0時の街から (1978) 19 歳
10. 雄城高讃歌 (1977) 18 歳
9. 16才の唄 (1976) 17 歳
8. 僕のガールフレンドⅡ (1976) 17 歳
7. 大原さん (1976) 17 歳
6. 君とのデート (1975) 16 歳
5. 手紙 (1974) 15 歳
4. 誕生日によせて (1974) 15 歳
3. なんとなく (1974) 15 歳
2. 僕のガールフレンド (1973) 14 歳
1. 水田っていいな (1973) 14 歳・・・中2 生まれて初めて作った唄

水田っていいな

Am

水田っていいな 水田っていいな

Am E

光があたれば 光の尾をひき

Am E Am

風が吹けば 波がたち

E Am

まわりの緑は あざやかに

Am

水田っていいな

かかしが笑うよ たんぼの真ん中

すすめがそれみて 逃げていく

池の水は 澄みきって

水田っていいな

蛙はゲコゲコ 合唱し

イモリは畑で 運動会

空の青さは あざやかに

水田っていいな 水田っていいな

僕のガールフレンド

C G7 C
僕のガールフレンド

でした

僕のガールフレンド

C Em Am
僕のガールフレンド
C Em Am
僕のガールフレンド
Em Am
エクボが 可愛くて
Em Am
とっても 朗らかな

C Em Am
僕のガールフレンド
C Em Am
僕のガールフレンド
C G7 C
僕のガールフレンド

でした

なんとなく

G Em C D7

なんとなく 歩いてみたい 並木路

G Em C D7

なんとなく 走ってみたい 歩道橋

G Em C D7

なんとなく 飛んでみたい 雲の上

G Em C D7 G

なんとなく なんとなく 君が好き

なんとなく 叫んでみたい 馬鹿野郎

なんとなく 殴ってみたい 君の顔

なんとなく 笑ってみたい 君の顔

なんとなく なんとなく 君が好き

誕生日によせて

G

誕生日が来ます

G

D

G

できたら 私は お花がほしい

C

G

C

D

貴方の好きな「ひまわり」でもいいけれど

G

D

G

できたら 私は 「かとれあ」がいい

C

G

C

D

ひとりでみるには まぶしすぎる花だから

G

D

G

できたら 貴方と ふたりでみたい

誕生日が来ます

できたら 私は お花がほしい

貴方の好きな「白いばら」でもいいけど

できたら 私は「けし」の花がいい

ひとりでみてると こわれそうな花だから

できたら 貴方と ふたりでみたい

手紙 詩 佐藤恵子

D Em G D Em G D
あなたに かわいい彼女ができて その子が プレゼントしてくれたら
A7 D A7 D G D
「悪いね」じゃなくて 「ありがとう」って 一言 言ってあげて その方が・・・

黒いスカートとセーターを着たのは 別に これと言う 理由はないんです
ただ 白いハイソックスが はきたかったから ただ それだけ・・・

姉さんが もし 英語の先生に ならなかったら
わたしが 姉さんの替わりをさせられるんです

それでいて 両親は「二人とも先生になれ」 いつもの口癖です
でも わたし お嫁さんになれたら 仕事はしないで暮らすつもりです
嫌なことがあって 家の人にあたるのは 嫌だから・・・

あなたは 紅茶が好きなんですね わたしも嫌いじゃないけど
どちらかと言うと 紅茶は レモンティーの方が好きです 贅沢でしょうか？

高校入試がすんだら スケートに連れて行ってください
大勢ひきつれて みんなで行きたいんです
長尾君や靖ちゃんたちも・・・いいですか？

わたしに 手紙をくれるときは あなたのなまえは書かないで
女の子の名にして 何故って それは 母さんが見てるから・・・

「さよなら」って書くのは 嫌だから 何も書かずに 終わります
また 気がむいたら 返事を下さい いつでも 待ってます・・・

君とのデート

C Em AmEm F Em Dm G
雨傘 雨だれ 雨宿り 君とのデートは いつも雨
C EmAmEm F Em G C
雨雲 雨粒 雨蛙 行き場所ないので 喫茶店
DmG C Am Dm D7 G
君の好きなクリームソーダ 僕はいつもオレンジジュース
Am Em Dm G
300円で 3時間 店の人が ならむ
C Em Am Em F Em G C
これから この店 来れないね なんて 二人で 笑い声

竹町 中央町 都町 お金もないのに 二人連れ
トキハに ニチイに 西友と ウインド覗いては 立ち止まる
今度の君の誕生日 あのセーター買ってやろうか？
それより わたし お花がほしい
そして あなたと二人で 仲良く 一緒に みていたい

ふたり 歩きつかれて 噴水の前で ひとやすみ
コーラに ファンタに スプライト 小銭をさがして 販売機
帰りの自動車賃がいるからね 1本だけしか買えないよ
ふたりで1本 半分ずつ飲んで

美味しかったけど もの足りないね なんて 相づち打ち合って

星空 星影 なみだ星 君との別れは 7時過ぎ
星屑 あの星 流れ星 ふたり並んで 帰り道
いつも おそくて ごめんねと 言ったら 君は うなづいて
ゆみちゃんところで 勉強してることに なってるの
なんて 君は とぼけた顔で そう言って ちょっぴり 苦笑い

うしろ 振り向き こう つぶやいた
いつまでも いつまでも いついつまでも ふたり 一緒に いようね

大原さん

G Em
毎朝 あなたは 自転車で
Am A7 D7
いつも この道 走ってく
G Em
たった ひとつ 「オハヨウ！」の
Am A7 D7
言葉が とっても いいんです
Bm B♭m Am Bm B♭m Am
きれいな 瞳をした 女の子
Am C G
あなたは 僕の お姉さん

「好きです」なんて 言ったなら
笑われそうな 気がします
それでも やっぱり 好きなのです
言葉が見つからないんです
優しい 心の 女の子
あなたは 僕の お姉さん

いよいよ 入試が ありますね
勉強 うまく 進んでいますか
まだまだ 夜は 冷えますよ
お身体 大事に してください
南大分の 女の子
あなたは 僕の お姉さん

僕のガールフレンドPART II CAPO2

Am EmG Am EmG Am EmG Am
唄が好きで 花が好きで 夢が好きでした
Am Em G Am Em G Am Em G Am
Gパンが 似あって ミニが 似あって お洒落好きでした
Em Am EmG AmGAm
そんな女の子でした 僕が恋した人は

拓郎が好きで 陽水が好きで かぐや姫が好きでした
笑顔がかわいく ピアノがうまくて 背が高かった
君と会ったのはいつか 僕は忘れてしまいました

優しそうで 冷たいようで 明るい人でした
英語が得意で 数学が苦手な 美術が好きでした
いつも 意見が食い違う 水と油みたいでした

僕は君が そんな君が とても好きでした
君のために唄もたくさん 作ってきました
だけど お空へ 昇った人 どこかで 僕の唄聴いててね
唄うよ これからもずっと 僕も お空へ昇るまで
僕も お空へ昇るまで

16才の唄

C Em Am Em Am Em Dm G
話がしてみたい 貴方と話が 貴方のこと何にも 知らないんです
C Em Am Em Am Em Dm G
名前が知りたい 貴方の名前が 私のこと何にも 知らないでしょう
Am Em
話しかけるような 勇気もないし
Am Em
バレンタインは来年の話
F Fm C G
せめて お誕生日が わかっていれば
Am Em Am G
いいのになあ 知らないもん いじわるね MUN...

何かしらきっかけが あればいいのになあ
帰り道が一緒だとか クラブが同じとか
マネージャぐらいなら できる気はするけど
いくらなんでも 相撲部だもの
貴方だけなら 興味はあるけど
他の人達は ちと いただけない
だから 遠くで見守るんです
しかたがない あのおなか エイリアン MUN...

いつもいつでも 「おはよう」だけで
貴方のこと 「好きだ」なんて 言いたせない
明るい笑顔が 素敵なんです
心を打ち明けずにいるほうがいいみたい
いつまでも 貴方の笑顔 壊したくは ないんです
だから 「おはよう」だけでいいんです
でも少し 私の気持ち 気づいてほしい

雄城高讃歌 詩：神田 朋子

G Em
緑の台地に 降りそそぐ
Am A7 D7
陽ざしを浴びて
G Em D
若者たちの 意気高く
Am C G
すばらしき 夢
C G
けれども知っている
C A7 D7
輝く若い日は
G Em
二度と帰らぬ 青春よ
G C G
明日を信じて

緑の台地に こだまする
明るい歌声は
誰でも胸に秘めている
思い出のひとこま
涙も汗もしみこむグラウンドに
開け僕らの青春よ
未来を信じて 未来を信じて

午前0時の街から

C Em Am Am/G F
午前0時のアスファルトの上 靴音淋しいメロディ
C Em Am Am/G F
静かな寝息を吐きだす街並 最後のタバコに火をつけて
C G C
通り慣れた道を 小走り
Dm Am Dm Am
酒の力で君を訪ねた アパートのドアすがって叩いた
F C F C
君は僕に 君は酔ってる僕に
Dm F Fm C
本当の笑顔 見せてはくれなかった

ドアの隙間を斬りつける風 肩をすくめ 君震えてた
ゴメン起こしてしまっただね うなずくこともしない君は
溜め息だけが白い
柱時計がチクチクタクと 飲んだくれ男を嘲笑ってるよ
何か話せよ おまえ 話してくれよ
そんなに おまえ 無口だったかな

酒の力で君を訪ねた アパートのドアすがって叩いた
君は僕に 君は酔ってる僕に
本当の笑顔見せてはくれなかった

Mr. K

G Am D7 G
あなたの歩いたこの道を 追いかけてようとは思わない
G Am D7 C G
いくつもの恋をして いくつもの唄を作った
Em Bm Em G C G A7 D7
でも まだまだ語れない 唄はまだ人生を越えない
C G C G D F G
だからさ Mr. K 今は少しでも あなたに近づきたいんだ

あなたの愛した安酒を 一升六合飲みました
沢山の人を知り 沢山の唄を作った
でも まだまだ 知らないことがある 唄では語れぬことがある
だからさ Mr. K 今は少しでも あなたに近づきたいんだ

あなたの唄ったあの唄を 着飾ることはしたくない
言いたいことを唄にして みんなにわかってほしかった
でも まだ十分に唄えない 唄いたくないこともあるよまだ
だからさ Mr. K 今は少しでも あなたに近づきたいんだ
だからさ Mr. K 今は少しでも あなたに近づきたいんだ

酒を飲まずに COPO4

Em G D Em
酒を飲まずに 君の事を 好きだと言えた
Em G D Em
飾ることなく 自分の気持ち 言葉にできた
Em G D Em
いつか奪うよ 君の心 僕のこの腕で
Em G D Em
やっぱり 好きさ 君が好きさ 変ることはなく
C Em C Em C Em C D Em
君の部屋で 語り合えば 本当の優しさ 感じた気がして

言葉足らず 行方知れず 漂うだけでも
夢はいつか 叶う時が来るのを信じて
誰にだって 過去はあるさ そりゃ僕にもね
明日の天気 願うよりは 今日を願いたい
何にもできない 歌しかないから 行き場所なくした 歌を唄うだけ

電車通り ライブハウス 君の好きな店
ホワイトキープ 三日もたず 苦笑い
エプロン姿 君の笑顔 水割りもう一杯
肩を並べ 君の家まで 上野坂あたり
小さな胸の女の子 今夜はここまで おやすみなさい
小さな胸の女の子 今夜はここまで おやすみなさい

夜更けの街から

Am

夜更けの街から 雨の中 今夜は

Am

御機嫌どうです 気まぐれ 泣き虫さん

F G F E G

部屋の灯りを すっかりけして

F G Am

灰皿 線香花火

上野町 どぶ川 たばこ屋 安下宿
水割り やかん水 おまえは ライム割り
家出をしてきた なんて 冗談まじりに
つぶやき笑い声

短い夜だった 言葉が見つからず
おまえを抱きしめた わけもわからず抱きしめた
かわいい唇 傷つけられて
俺の胸の中 涙

かわいい唇 傷つけられて
俺の胸の中 涙

風邪ひきさん

Am Fmaj7 D Am Fmaj7 D

風邪ひきさん 風邪ひきさん

G Em C D7

あなたは 今日も 休んでいますね

G Em C D7

私の前に ポツンと空席

風邪ひきさん 風邪ひきさん

今日あなたの家へ プリント持って行きました

あなたはいつもより ちょっと赤っぼい瞳

風邪ひきさん 風邪ひきさん

早くよくなって でないとわたし

早くよくなって でないと...

風邪ひきさん 風邪ひきさん

羅版亜汁

G Em G Em
上野町は 2丁目あたり
Am Em A7 D7
電車通り ライブハウス
G Em G Em
夢の中で 恋した人と
Am Em A7 D7
逢えるような そんな気がする
C G C G
黒サングラスのマスターが
C Bm Am7 D7
店の真ん中座ってる
Em Bm Am G
すてきな仲間の集まる店さ
Em Bm Am C G
一度はおいでよ ラパンアジル

ふるさとを 持たぬなら
それもいいさ さあ もう 一杯いけ
飲む酒に 酔える店
語り明せば それもいいさ
唄にならない 唄もある
語り尽くせぬ 恋もある
ひとりもいいさ ふたりもいいさ
一度はおいでよ ラパンアジル

暖かい中にみんないて
いつの間にやらとけこんで
すてきな仲間の集まる店さ
一度はおいでよ ラパンアジル

いくじなし

Em A7 Em A7 Em A7 Em A7 Em A7
傘も 持たず 雨ん中 竹町あたり ひとりで 歩いた
Em A7 Em A7 Em A7 Em A7 Em A7
水玉 雨傘 ふたり連れ 俺は ひとり ずぶ濡れ 濡れネズミ
C G
吸えないタバコを吸ってみた
C B7 Em A7 Em A7
涙が出たのは 煙のせいだよ

眠れぬ街角 受話器を抱いて 人さし指が憶えた ダイアルななつ
今夜はどいつの胸の中 部屋の灯りと留守番電話
Tシャツ残した ルージュの文字は
また逢う約束 ひと夜の戯れ

ピエロのように

G

世の中 そんなに うまくはゆかぬ

G

晴れのち曇りは にわか雨

Em

Bm

だから 君の瞳が 曇らないように

Em

Bm

かわいい そばかすが 滲まないように

C C/B C/B \flat Am C G

僕は 唄を 唄い続ける

C C/B C/B \flat Am C

G C

G

君が 笑顔を 思い出すまで いつまでも

自転車の後に 君を乗っけて

木枯しの街を 走ろうか

そして 16色のサクラのクレパスで

哀しい唄を 塗り替えよう

涙が 雪に 変わる前に

色褪せた風が 吹き抜けるまで その時まで

寂しがり屋は 皆同じ

錆びついた心 開いてごらん

そしたら 君にあげるよ 僕の夢を

小さな小さな夢だけど

コーヒーカップの湯気の中で

うす紫に 笑ってくれれば

君が好きさ 君が好きさ 君が好きさ

夕焼け見てたら

G D G D G G D G D G
国道沿いに 自転車とばせば 秋風に乗って 赤とんぼスイスイ
G D G D G G D G D G
コカコーラ飲んで 河原でごろ寝 夕焼けの赤が やけに瞳にしむ
B7 Em A7 D7
手紙を書いても ポストに入れず 電話をかけるは 金のない時
B7 Em A7 D7
今頃おふくろ何してる 小さな声で 叫んだよ

ばあちゃん元気かなすびはとれたか じいちゃん今でも湯飲みで焼酎
盆にも帰らず 祭が近いね 今年はお神楽 誰がでるの
信じられるかおいらにも かわいい彼女が できました
まーるいお鼻に そばかすつけて まるで「別冊りぼん」にでてきそう
それでもいいんだ とっても好きだよ
おいらの気持ち わかってくれるよ

強がり 意地はり 家をでて 泣き虫 弱虫 戻れない
けど 夕焼け見てたら なんとなく 素直になれた気がします
もうすぐ帰るね 暇ができたなら
もうすぐ帰るね あの娘をつれて

明日の雨に

Am Am/G Am/F# Am/F Am Am/G Am

見知らぬ街 名もない喫茶店 雨に降られて

Am Am/G Am/F# Am/F Am Am/G Am

ガラス越し 雨垂れの中 車が走る

C Dm Em C Dm Am

飲みかけのグラスに 落ちて行く影は

C Dm Em Dm7 F Am

夏の忘れ物か 小さな風鈴

街は今日も お祭さわぎ きまぐれ天の邪鬼

優しい雨に 包まれ揺れた コスモスの花

首をかしげたまま 微笑みを浮かべて

からっぽの心を うるおしてくれた

たとえ夢でもいい このままでいたいよ

お願いだ 醒めるな 素敵な夢だよ

ポニーテール

F C G C C7
君はうつむいてしまうし 僕は自転車に乗ってたから

F C G C
交わす言葉もなくて 僕の笑顔は行き場に困ってた

そうだね君はいつでも 僕の言葉を待ってたんだね
そうだよ僕はいつでも 君の心を待ってたんだよ

彼は優しい奴じゃないか 悲劇の幕はもう降りたよ
幸福になれないと言う前に 不幸を売り物にしないことだよ

二つの道をひとつにして 二人で今日まで歩いてきたつもり
いつのまにか もうひとつ 道草 寄り道 左にそれた

今まで 本気で私に 心開いてくれた人なんていない
それじゃね 今まで 君は 誰かに心開いたことあるの

皮肉なものさ 僕の心 落ち着かせてくれる人
いつのまにか君じゃなくて 忘れかけてたそんな彼女

僕の魂 揺さぶった人たち ここまで来れまい 来させまい
彼女の心のその中で やっと ふつうに ふつうに笑う

ゆくあてなしは 倅せゆきへ

 G Em C D
マイルドセブンが四畳半にくすんだら 君の事思い出したよ
 G Em C D G
両手を口に押しあてて 眉をひそめていた君の事をね
 C D G C D G
親父さんの言い分もよくわかる 箱入り娘の君だから
 C D G Em C D G
貧乏学生のこの僕に養うすべなどないこともわかつちゃいるけど
 Em Bm
ゆくあてなしは 倅せゆきへ
 C D G
ゆくあてなしは 倅せゆきへ

自転車の後に君をのせて 街を走ることも当分おあずけ
まるで七夕の言い伝えみたいだね それでも僕は待ってるよ
親父さんも時がたてばきっとわかってくれる日があるよね
雪が解けて春がきても 君の気持ちがかわらないなら
その黒髪を切らないでおくれ
ゆくあてなしは 倅せゆきへ
ゆくあてなしは 倅せゆきへ

両手にこぼれないほどの微笑み持って
君を必ず迎えに来るよ
時に負けない勇気がこの僕にあれば
君を必ず迎えにゆけるよ

ゆくあてなしは 倅せゆきへ
ゆくあてなしは 倅せゆきへ

お金はないけれど

C C7 F C

お金はないけれど お金はないけれど

G C G C

大きな夢がある 素敵な仲間がいる

ハーモニカとギターをさげて いろんなところで歌ったよ
悔しい事もたまにはあったよ それでも声をかけてくれたよ

東の街では公園のベンチで 西の街では河原の橋の下
おいらの唄を聴いてくれたよ そして 暖かい心 教えてくれたよ

楽しい奴らいっぱい 素敵な奴らいっぱい
住み着かなくとも 愛すべき街 風に乗って あの街辺り

とにかくがんばるのです とりあえずがんばるのです
そうです もうひとふんばり それから もうふたふんばり

お金はないけれど お金はないけれど
大きな夢がある 素敵な仲間がいる

両手をたたいておくれ

G C G G C G
両手をたたいておくれ 両手をたたいておくれ
C G D G
両手をたたいておくれ 両手をたたいておくれ

人がまわりで見てるから 一人でやるには 恥かしいかい
それじゃみんなと一緒にやろうよ みんなと一緒に汗を流そうよ

ほら ちゃんとやれるじゃないか もっと心を開いてごらん
もっと大きな音がでるよ ほら みんなと一緒にやろうよ

ほら 全然知らない人も ほら 一緒に両手をあわせれば
みんなと同じ音がするだろう そうさ みんな仲間になれるさ

寂しがり屋を気取るのは もうそれくらいでやめにして
みんなと一緒に歩いてみようよ ほら こんなに楽しいよ

ギターがないと歌えないなんて それは きっと おそらく 嘘だよ
ほら こうして手拍子だけでも おいらの心は伝わるはずさ

世の中そんなに楽しいことばかり 流れているとは限らないけれど
それでも楽しく生きてみれば 自然に笑顔はこぼれるものさ

両手をたたいておくれ 両手をたたいておくれ
両手をたたいておくれ 両手をたたいておくれ
両手をたたいておくれ 両手をたたいておくれ
両手をたたいておくれ 両手をたたいておくれ

おいらの声がきこえたら

C G F G C G F G

おいらの声がきこえたなら あんたの声をきかせてくれ

C G F G C G F G C

おいらの心がみえたなら あんたの心をみせてくれよ

おいらの両手がとどいたなら あんたの両手を伸ばしてくれ

おいらの身体が翔んだなら あんたの身体を翔ばしてくれよ

着飾るなんて柄じゃない 生まれた時は裸のはず
理屈ならべるその前に 自分の足で歩いてみようよ

傷つくことが怖いだけの 優しさならば おかどちがいさ
慰めかける その前に あんたの拳で殴ってくれよ

声のでるなら 唄ってみよう 足があるなら 歩いてみよう
両手があるなら 掴んでみよう 心があるなら 恋してみようよ

悲しかったら 泣いてみよう 嬉しかったら 笑ってみよう
頭にきたら 怒ってみよう 夢があるなら 追いかけてみようよ

本当の声をきかせてくれ あんたの声をきかせてくれ
本当の心をみせてくれ あんたの心をみせてくれよ

おいらの声がきこえたなら あんたの声をきかせてくれ
おいらの心がみえたなら あんたの心をみせてくれよ

おいらの声がきこえたなら あんたの声をきかせてくれ
おいらの心がみえたなら あんたの心をみせてくれよ

僕と君は

G Em C D7

僕の言葉が 僕の言葉が 正しければ

G Em C G

君はおそらく 君はおそらく 悪い人だ

君の言葉が 君の言葉が 正しければ

僕はおそらく 僕はおそらく 悪い人だ

僕の言葉と 君の言葉が 正しければ

僕と君は 僕と君は 一緒になれない

僕の夢が 僕の夢が かなったならば

君はおそらく 君はおそらく 夢をなくす

君の夢が 君の夢が かなったならば

僕はおそらく 僕はおそらく 夢をなくす

僕の夢と 君の夢が かなったならば

僕と君は 僕と君は 一緒になれない

僕と君は 僕と君は 一緒になれない

元気かい

E F#m A C7 E
東京の空は 夕焼けがきれいかい そして 赤とんぼとぶかい
E F#m A C7 E
仕事はうまく こなしているかな ボーナスはいくらくらいでたの
C#m G#m
お酒も少しは 飲めるようになったかい
A B7 E
タバコは 相変わらず嫌かい
C#m G#m
お前の片思い 花屋のあの娘は
A B7 E
今年の冬 母親になるって
E C#m A B7 E
元気かい 俺も元気さ たまには はがきくらい出してくれよ
E C#m A B7 E
元気かい 俺も元気さ この街には もう帰って来ないのかい

疲れた街に お酒を一滴 昼間は眠ってるネオンがきれいです
自分の弱さに ふと気づいた時 何故かおまえのこと思い出したよ
おいらのことかい 就職の話かい
まだまだ フラフラ風来坊
唄うために生きても 生きるために唄うにゃ
きびしすぎる毎日
元気かい 俺も元気さ ころんでも泣き寝入りは嫌だね
元気かい 俺も元気さ だから もう少し自分ためしてみるよ
元気かい 元気かい

S

G Bm C G
ひさしぶりお元気ですか
G Bm C Cm G
これからどちらへそれとも帰り道
G Bm C G
そこらでどうです昔なじみの店で
G Bm C Cm G
お茶でもどうです時間があれば
Am Em
君は小首かしげてすました瞳で応えた
Am C B7
貴方相も変わらず誘い方が下手ね
Em Bm
夜も遅い事だし ママが心配してるわ
Em Bm
そうねそれでも私も20才になった事だし
C Cm G D G
少しだけなら つきあってもいいわ なんて WHM

バネの軋む椅子と緑のテーブル 壁に残した落書きひとつ
あの日のきみが残した「馬鹿野郎」 人差し指でそっとなぞってみる
少し前まで2人こうして席を並べて 恋人同志をきどったもんです
薬指光った指輪が すべてを語ってくれた
それでも妙にやつれた横顔 少しは気になる
幸せならば それでいいとか いらぬ世話 ポツリ WHM

思い出話もいつか ふっととぎれて
コーヒーカップくるくる ため息ひとつ
恋のはじめに 戻りたいとも 君は言わない
逆さに刻む時計もないから 僕も訊かない
だからこうして せめてこうして 今は ふたり WHM

やだよ

Am G Am Am G Am
人の心の裏側ばかり よみとるすべてを教えられて
Am G Am Am G Am
嘘をつくため 嘘について ひとつふたつ ほら又ひとつ
CG F G C GF G
お手々つないで にっこり笑えば
CG F G E Am E7
仲良しなんて おいら やだよ

言いたい事の半分も言えず 心の隅で尻込みしてる
いつもいつでも機嫌をとって 口先だけで 話をあわせ
身体があるのに 心がないなんて
許してくれよ おいら やだよ

哀れに見せるしぐさばかりおぼえ まるで悲劇の主人公のように
まわりの人の心ばかり集めて いつも自分の居場所を確かめる
筋書通りに 涙をもらえば
あなたとってもいい人なんて
おいら やだよ やだよ ...

親父の唄

G Bm Am D7
しけたタバコに火をつけうつむいたら 鏡の自分に
G Bm Am D7
親父のしぐさを見つけて ひとりドキリとし 苦笑い
C Bm C Bm
口癖だった いつも精一杯 あなたの人生 いつも精一杯
Am C Cm G D7
男として 大きすぎて 親父として 淋しすぎたよ

人を裏切る 哀しみと冷たさを ひとりじめにして
人を信じる 苦しみと優しさを 教えてくれた
それでも おいら 認めたくはないよ
仕事選んで 家を離れたあなただけ
だけどおいら近頃おいら 同じ道追いかけている気がする

雨の日の動物園 夕暮れのキャッチボール
幼稚園 父親参観 紙ねんどの灰皿
誕生日の自転車 遊園地 目をまわした ジェットコースター
下駄の音近くの風呂屋まで 涙とげんこつ
出張 あいさつまわり 出張 出張 出張 転勤

口癖だった いつも精一杯 あなたの人生 いつも精一杯
鏡の中 親父が笑う 「とにかく元気でやりなよ」 カラカラ

Mに贈る

G Em G D
馬鹿がつくほど お人好しで 哀しいくらい ぎりぎりで

G Em G D G
恋した女は 数知れず 残した女は 長い春

C G Em Bm
旅に出るのかい いつもの癖だね

C G A7 D7
立ち止まることは 許されないんだね

G B7 Em C D G
だから 憧れの君 いつも 夢追い人であれ

G B7 Em C D G D
そうさ 憧れの君 いつも 夢追い人であれ

G Em G D
おまえのギターと俺の唄が 街中うるおす その日まで

G Em G D G
口癖通りに 生きてやる つまづいた痛み ばねにしても

C G Em Bm
東京の風は 灰色だという

C G A7 D7
暮し汚しても 心まで染めるな

G B7 Em C D G
だから そんな夜には 思い出しておくれよ

G B7 Em C D G D
そうさ 俺たちの事 そして 愛した街の事

C G Em Bm
旅に出るのかい いつもの癖だね

C G A7 D7
立ち止まることは 許されないんだね

G B7 Em C D G
だから 憧れの君 いつも 夢追い人であれ

G B7 Em C D G
そうさ 憧れの君 いつも 夢追い人であれ

たいくつしのぎ

Am G
外は雨降り 僕はたいくつ 君は逢いびき 僕は風邪ひき
Am G Am G
タバコくわえて 僕はたいくつ 壁は黒じみ 僕は哀しみ
Am G
「貴方いい人 優しすぎるわ」「背伸びできない だから さよなら」
Am G Am A7
別れの台詞いつも同じで 借りた言葉は どこかに返しなさい
Dm Am Dm F E7
遠い昔の 嘘つき将軍 お山の大将 僕一人だけ

天井見つめ 僕はたいくつ 君は眩しく 僕は寂しく
枕ころがし 僕はたいくつ 夢は崩れて 僕は疲れて
突き刺すような 雨よ降れ降れ 心の中まで 洗い流せよ
誰かに逢ったら 言ってあげなよ 「あの人 愛をわからない人ね」
言葉がなけりゃ 信じない人さ
言えないってことは 勇気のないことかい

外は雨降り 僕はたいくつ 君は逢いびき 僕は風邪ひき
天井見つめ 僕はたいくつ 君は眩しく 僕は寂しく
たいくつしのぎ 僕はたいくつ たいくつしのぎ 僕はたいくつ
たいくつしのぎ 僕はたいくつ たいくつしのぎ 僕はたいくつ

それでもわからないことは

僕の生まれた豊中って街は 車よりも飛行機の方がうるさくて
あの頃 そう ボーイング727が空をかけると それはもう大変で
だから 僕は 静かな場所が好きで
そのくせ 慣れてやつは おそろしいもので
いつのまにか 人ごみの中を 歩いているんです

僕の育ったアパートは 六畳一間の今で言う1Kで
家族三人が洋服ダンスと冷蔵庫にはさまれて暮していました
だから 僕は広い場所が好きで
そのくせ 寂しさの空間が僕より大きくなると
押し入れにこもったりしてるんです

僕がこの町に来てから 早いもんで もう25年になります
僕の小さい頃の記憶を誰も持っていないと言うことが
僕にとって 大きな救いのたねでした
そのくせ 小学校の同窓会に一度も呼ばれたことがないと言うことが
いつも 心の底で 燻っていました

それでも どうしても わからないことは
この町の人には優しい人が多すぎて
だから ほとんどは いい人で 少し 悪い人なんです
だから ほとんどは 信じているのですが 少し 疑っているんです

おそらくは 僕にしても 同じことかもしれませぬ

ぷらいべえと

D A7 D G A7 D
君は水玉エプロン ほんのそこまで お買物
G A7 D B Em D
紙袋かかえ奥さん気取りで 路地裏 忙々
D A7 D G A7 D
僕はこたつでごろ寝 焼イモ包んでた新聞で
G A7 D Bm Em A7 D
ひと月前の野球の話やどうでもいい他人の事を知る
G Gm Bm
こんな穏やかな夕暮れ時に 台所の
D Dmaj7 G Gm G A7 D
門限まであと1時間だけの奥さんに ニヤニヤ

今度お金が入ったら 二人で飲みにゆこうか
それとも何処か 日帰りでもいいから 旅してみようか
君はなにやらトントン まないたの拍子にあわせ
それより あなた 先々月の家賃はもう払ったの
まるでおふくろが もうひとり ふえたみたいだ
僕はちよっとふくれて 天井 にらめっこ
こんな穏やかな夕暮れ時に 台所の
門限まであと1時間だけの奥さんに プロポーズ

インフルエンザB型

G Am Bm Am G Am Bm Am
日曜 朝から 頭がガンガン ソクソク寒気と 雨降り憂鬱
Bm Em Bm Em Bm Cmaj7
僕はいったい 何処の誰なの 誰か助けて
G D Em Cm G
フラフラ 淋しさ ため息 インフルエンザかな

38度5分 瞳が真っ赤々 タバコも苦いし 食欲もなし
君はいったい なにしているの 電話もないね
イライラ 冷たい君が 恨めしい

C D Em C G
これも 風邪 風邪 風邪のせいなら いいんだけどな
C D Em Cmaj7 G
淋しさも 風邪 風邪のせいならば いいんだけどね

誰でもいいから ドアを叩いて 温かスープを飲ませておくれ
それにつけても ひどい仕打ちだね あの娘もやっぱり
風邪ひきさんかな まさか デートじゃないよね
これも 風邪 風邪 風邪のせいならいいんだけどな
心配も 風邪 風邪のせいならいいんだけどね

あとの祭り

C G
「私をひとりにしないで」と言った

C G
おまえが 俺をひとりにしてたよ

Am Em G
誰のせいかな 俺のせいかな 俺のせいだね

いつものバス停 街角 立ん坊
タバコが苦いよ 疲れてるのかな
誰に逢いたい 君に逢いたい 君に逢えない

外は寒いよ 北風ぴゅうぴゅう
重たい雲が 今にも泣きそう
雨にぬれるな 風邪をひくなよ いそいで帰れよ

まにあわないね 今頃言っても 俺の負けだよ

すっからかん

G Em G Em G Em
腹がへったよ 何かないかい 何も無いよ 仕方ないね

G Em G Em G Em
夢をみたかい 誰の夢かな 古い傷跡 悪い夢だね

C D Em C D Em
すっからかん おいら すっからかん

C D Em D F G Em G Em
いつも すっからかん それで いいかい

静かすぎるよ 酒を飲むかい 唄をうたえよ いつものやつをね
寒かないかい 指がつめたい そばへおいでよ 月が笑ったね
すっからかん おまえ すっからかん
だけど すっからかん とても すてきさ

涙浮かべて 何を見てるの 悪い癖だよ 寂しい瞳でさ
忘れかけてた 優しい心を 抱いていたいよ 嘘でもいいからさ
すっからかん おいら すっからかん
おまえ すっからかん 翔んで みようか

1984年11月3日 文香

D Em A7 D
ねむれ ねむれ 今はただ
D Em A7 D
ねむれ ねむれ いい子でしょう
D Em A7 D
西の空が 暮れる頃
D Em A7 G D
君は生まれた 夕焼けの中
F#m Bm
色褪せかけた 夢のあとで
F#m Em F#m Em A7 D
ふと生まれた 夢のように 君は

ねむれ ねむれ 今はただ
ねむれ ねむれ いい子でしょう
よせてはかえす 波のように
今日も一日 暮れてゆく
新しい海へ 今 船が出る
明日もきっと 晴れるといいね そうだね
ねむれ ねむれ 今はただ
ねむれ ねむれ いい子でしょう

色褪せかけた 夢のあとで
ふと生まれた 夢のように 君は

沙織・一才九ヵ月

C Em Am Em Am Em Dm G7

お昼寝できずに 機嫌が悪い

C Em Am Em Am Em Dm G7

夕立過ぎれば 涼しくなるから

C Em Am Em

そんなに かあさん 困らせないで

Dm Am F C

静かに おねむり いい子でしょう

重ねた つみきを 又 崩し

うまくいかぬと 又 拗ねる

そんなに 短気じゃ この先困る

人生だけは 崩さぬように

君の瞳で 花火がはじく

赤 青 黄色が とてもきれい

君はいったい何色花火

小さくていいから しっかり燃えろ

小さくていいから しっかり燃えろ

昔この店このテーブルで

G Em C C/B Am7 D7
子どもの手をひき芸術会館 予約で買ったチケットはブレーメンの音楽隊

G Em C C/B Am7 D7
開演前の1時間 腹ごしらえに喫茶店 お子さまランチにトンカツ定食

C D G C D G
昔この店このテーブルで 向い合ってた2人連れ

Am Bm C
君が時計を気にするたびに

Dmaj7 Cmaj7
気まずい思いをした僕が

Dmaj7 Cmaj7
今は子どもの食べこぼし

Dmaj7 G
文句を言いつつ 気にしてる

着色料で染められた ゼリーを指差し「食べてもいいの?」と呟いた
女房の顔が目に見え 「出されたものは食べなくちゃ」

妙なしつけと思いつつ

昔この店このテーブルで 向い合ってた2人連れ

君が「辛い」と顔をしかめた

絵に描いたようなハンバーグ

今は子どもが同じ顔

「かあさんの方が 上手だね」

昔この店このテーブルで 向い合ってた2人連れ

君が時計を気にするたびに

気まずい思いをした僕が

今は子どもの食べこぼし

文句を言いつつ 気にしてる

新曲

お元気ですか ごぶさたしています
変な唄を作ったので聴いてください
近頃思うのですが どうも感動する心が
鈍感になったようで いけません

ワクワク ドキドキする唄に出会いません
それはきっと 僕の心が病んでいるのかも知れませんが

言葉が軽くなりすぎて
別に重たければいいというもんでもありませんが
心までなくしてしまいそうで

レコードも軽くなりましたね ジャケットも
CDも便利で音もいいし それはそれでいいのですが
唄が右の耳から左の耳へと とおりすぎていきます
内容まで都合よくなって

僕は詩人でもないし 小説家でもないから
偉そうに言えないのですが 言葉が響いてこないのです
心が暖かくなならないんです きっと僕は 病んでいるんですね

きっと 又 唄を始めた頃 聴いたような
ドキドキする歌もありますよね
だから もうしばらく このまま唄っていようと思います

とりとめもない唄になりましたが
言いたいこと伝わらないかも知れませんが

こんな唄を作ってみました とりあえず新曲です
では 又 ごきげんよろしゅう
みなさまに くれぐれも よろしくお伝えください

翼を広げて

D G D A7 D G A7 D
あきらめないで 貴方の夢を 信じ続けて 仲間の事を
D G D A7 D G A7 D
どんなに傷つき 疲れ果てても つまづいた痛み バネにして
G A7 D Bm G A7 Bm A7
未来に向かって 歩いてゆけば きっと笑顔が 戻ってくるさ
D C G D C G D
翼を広げて 自分を信じて 翔べ
Bm F#m
傷つく事を 恐れちゃだめだ

Bm F#m
過ぎ行く過去は 断ち切ってしまえ
Em A7 G D
そうさ 仲間が ほら 迎えてくれるよ

苦しまないで ひとりっきりで 瞳をみつめて 手をさしのべて
どんなに汚れて 沈んだとしても 小さな優しさ 肩寄せあって
きれいな心が あふれてゆけば きっと希望が 拓けてくるさ
翼を広げて 自分を信じて 翔べ
傷つく事を 恐れちゃだめだ

過ぎ行く過去は 断ち切ってしまえ
そうさ 仲間が ほら 迎えてくれるよ

B7E D A E D A
翼を広げて 自分を信じて
E D A E D A
翼を広げて 自分を信じて
E D A E D A D A E
翼を広げて 自分を信じて whm whm whm

素直な心と勇気があれば

C C/B

あなたの夢は何ですか

Am Am/G F F/E

心は何処にありますか

Dm7 Dm/G Cmaj7

尋ねることはできますか

C C/B

うつむきかげんは何故ですか

Am Am/G F F/E

心の汗も流さずに

Dm7 Dm/G Cmaj7

優しさなんて嘘ですね

F G E Am Dm7 G C C7

臆病すぎた毎日が しかめっつらをうまくして

F G E Am Fmaj7 Gmaj7 Fmaj7 Gmaj7

あなたの心の扉があれば 素直な心に翼があれば

C C/B Am Am/G F G C

今よりずっと遠くまで あなたの声が届きます

私の夢はこれですと 心はここにありまして

自分の瞳をごまかさずしっかり貴方を見つめたい

傷つくことが怖いから 優しいふりをしてるだけ

逃げてく道をさがすから 夢のかけらも光らない

私の心のキャンパス広げ いろんな色に染ってゆけば

今よりずっと近くまで 貴方の心が届きます

素直な心と勇気があれば 夢のかけらと明日があれば

おいらの声どこまで

Em Am G B7
何処にもゆけずに泣いてる おいらの唄が泣いてる
Em Am B7 Em
乾いた唇ひらいて もう一度叫ぶよ
Em Am G B7
いろんな人に逢ったよ いろんな愚痴もきいたよ
Em Am B7 Em
みんなそれぞれ自分が かわいいもんだね
EmD G A7 B7 Em
おいらの声 どこまで届くだろう
EmD G A7 B7 Em
あなたの胸に 響いてゆけるか

10年続けて歌った 後の5年は埋もれた
あくせく走り続けた 時に流され息切れ
風の噂に聴いたよ あいつも こいつも どいつも
育児と仕事に追われて 亭主元気で留守がいい
おいらの唄 いつまで続くだろう
あなたの夢 語ってやれるか

年はたしかにとるもの 30過ぎて気づいた
時間はますます加速し 日々の暮しは軽薄
おいらごときが力んで 叫んでみてもどうなる
それでも誰かが聴いてる あなたがいるから唄ってる
おいらの声 どこまで届くだろう
あなたの胸に 響いてゆけるか

おいらの唄 いつまで続くだろう
あなたの夢 語ってやれるか

新しい唄を今

G Em G Em
あなたの夢は何でしたかと 尋ねてみても苦笑いだけ
Am EmAm Em Am Em C D
叫び続けたあの日の声は 若さのせいと時にごまかす
G Em G Em
時代が違う 世代が違う 人の心はそんなに易く
Am Em Am Em
変ってゆくか 変われるものか
Am Em C D
答えてくれよ 信じたくはない
G Em G Em
何処へ消えた友だちよ 不器用は俺たちの
Am Em Cm G
取柄じゃないか 新しい唄を今 歌っておくれよ

男と女 暮しをはじめ 子供が生まれ仕事も増えた
他人のせいにするなよ命 精一杯は昔も同じ
流れ流されひとごみの中で 自分の姿見失っても
気休めだけの つきあい酒は
答えてくれよ 苦い酒だと
口を開け友だちよ 飾りなしは俺たちの
生き方なのさ 新しい歌を今 歌っておくれよ

愚痴は言いまい 空しくなるから
背伸びはしまい 苦しくなるから
のろくてもいいじゃないか
新しい雪の上を歩くようなもの
ゆっくり歩けば 足跡はきれいに残る

何処へ消えた友だちよ 口を開け友だちよ
飾り気なしの新しい唄を今唄っておくれよ
飾り気なしの新しい唄を今唄っておくれよ

あなたに似合いの明日があるさ

C G Am Em F G C
哀しみばかり 数えているから 知らず知らず 無口になる
C G Am Em F G C
言い訳ばかり さがしているから いつのまにか 独りになる
Am Em
なくしたものを たぐりよせても
Am Em G
みつかるものは 虚しさだけだよ
C Am Em F
だから そんな顔 しないで 笑ってごらん
C Dm Fm C
あなたに 似合いの 明日があるさ

素直になれと 人に諭して そんな自分が素直じゃない
二つの答を 準備万端 ころんだ自分を かばうため
きれいにうまく 生きるより
不器用でいい ぶつかりあいたい
だから そんな顔 しないで 笑ってごらん
あなたに 似合いの 明日があるさ

あなたに 似合いの 明日があるさ

吟醸酒

G Am Bm B♭m

おいしい酒を 見つけたからと

Am D7 G

突然 夜中に誘いの電話

G Am Bm B♭m

明日の仕事が 気にはなるけど

Am D7 G G7

たまにはいいかと いつもの話

C Cm BmEm

今夜は 何だい 女の話かい

C Cm Bm Em

それとも 仕事の ごたごた

Am D7 Am D7

どうでもいいけど うまいね この酒

G G/G♭ Em D G

愚痴の数だけ 新しい酒

昔話は 酔いにまかせて

あの時 おまえが ああした どうなった

顔だけ笑って 言葉はきつい

喧嘩にならぬが くされ縁

おまえと もう一度 野球がしたいねと

押し入れ グローブ ごわごわ

どうでもいいけど うまいね この酒

夢の数だけ 新しい酒

ものろうぐ

C C/B Am F
夕暮れ 公園 街の灯ともる頃
C Am Dm G
家路を急ぐ子供たちの声
C C/B Am F
すべりだい ぶらんこ 置き去りの三輪車
C Am Dm G C
夜風に吹かれ ぽつんとため息
E Am
遠くの街へ 嫁いで行くと
Dm G
風の噂が教えてくれた
Am Em Am Em
好きでもないし 嫌でもないなんて
Dm Em Fm C
幼なじみは 紙芝居

黄ばんだ写真は 修学旅行の二人
奈良の都で 鹿につつかれ
好きだと言葉に切り取れば
そこからはじまる二人の嘘絵巻
夢は西へと 舟を漕ぎだす
僕もそろそろ 腰をあげなくちゃ
淡い思い出 抱いてねむろう
プロポーズはひとりごと

酔っばらいの数え唄

G B7 Em C7
ひとつ 人より そう 生きて行くのが下手で
G E7 Am7 D7
ふたつ 振り返れば もう 誰もいなくて
G B7 Em C7
みっつ 未果てぬ夢 ポケットに詰め込んで
G E7 A7 C7 G
よっつ 酔っばらえば 今夜も御機嫌
B7 Em
一言 言い過ぎて 敵を作り
B7 Em
二言 飲み込んで 肩を組んで
A7 Am7
ハラハラ ドキドキ ワクワクで
A7 D7
今宵も なにやら 乾杯！
G B7 Em C7
いつつ 今でも そう 義理と人情と正義
G E7 Am7 D7 G
だから 奴はいつでも ひとりで闘う

むっつ 無理やり ほら 人にボトルを傾け
ななつ 泣き上戸は そろそろ あぶない
やっつ やっぱり そう おまえ いい奴だねと
ここのつ 小突き小突かれ 今夜も御機嫌
一癖 見つけては 眉をひそめ
二癖 ひきだせば 相づち打つ
フラフラ ドロドロ ぐでんぐでん
今宵も 誰それ 乾杯！
とうで とうとう ほら 俺もお前もあいつも
天下無敵だ 万歳！ 愛すべき酔っばらい
愛すべき酔っばらい 愛すべき酔っばらい

飲み会の情景 I

G Em G Em
何だか とっても疲れてた 頭が キリキリ痛かった

G Em G Em
かえす言葉も見当たらず ただただ うなづいていた

C D G
となりにいたには 誰だ

C D G
たぶん悪い奴じゃない

C D G
そう おそらく 悪い奴ではない

タバコの数が増えてる 口の中が ヤスリのような
グラスの氷がとけてる もう少して 溢れそうだ
これで 何杯目の酒だ
飲み過ぎた訳じゃない
そう 飲み過ぎてる訳じゃない

言い訳は嫌いだ しかし せめられる理由もない
愚痴をきくのはつらい でも 人を斬るほど野暮でもない
カラオケがきこえる
今夜も元気のいい歌だ
そう 元気だけの歌だ

何だか とっても疲れてた 頭が キリキリ痛かった
何だか とっても疲れてた 頭が キリキリ痛かった
何だか とっても疲れてた 頭が キリキリ痛かった
何だか とっても疲れてた 頭が キリキリ痛かった

君が空へとけた

C C/B Am Am/G F F/E Dm G7

雨上がりの街並 水たまりを跳び越え

C C/B Am Am/G F F/E Dm G7

笑い声がきこえる 眩しくて 目を伏せた

F G C Am

探していたものは 何

F G C C7

つかみかけた夢は 何処

F G C Am

尋ねるばかりの僕

F G C

君が 空へ とけた

アスファルトは灰色 見上げれば虹

スカートをひるがえし 人差し指 ピストル

隠していたものは 何

与えられる夢は 何処

尋ねるばかりの僕

君が 空へ とけた

C C/E Am Am/G F F/E Dm G7

笑って 泣いて 怒って 走って 翔んで ころんで

C C/E Am Am/G F F/E Dm G7

笑って 泣いて 怒って 走って 翔んで また 笑って

C C/E Am Am/G F F/E Dm G7

笑って 泣いて 怒って 走って 翔んで ころんで

C C/E Am Am/G F F/E Dm Dm/G C

笑って 泣いて 怒って 走って 翔んで また 笑って

幸福の雫 詩：高橋 雨匠

C Am Dm G
遠い遠い昔の記憶 君吹く風は何色ですか
F Em Am Dm Em Dm G
陽炎揺れるプラットホーム 紅いサルビア ぼくらを見てた
C Am Dm G
どこから知らず紋白蝶々 青い屋根越え 空へととけた
F Em Am Dm Em Dm G
あの日の少女のこぼれる笑みに 初めて感じた 胸のときめき
C C/B Am F G AmGAm C C/B Am F G AmGAm
眠れぬ夜を幾つも 数え 恋してせつなく ゆるがす 心

甘くすっぱいぼくらの秘密 君見る夢は何色ですか
大きく羽ばたくアゲハ蝶 藍染め浴衣で揺られて揺れて
花火のにおい二人を包む 微笑みうちわで風をくれたね
遠くで鳴いてる夜汽車の声に 消されるくらいの声でささやく
上手に言えずにはにかむ二人が 言葉のいらない二人になってた

ひとみ溢れる しあわせ雫 零れて夜空の 星に隠して
ひとみ溢れる しあわせ雫 零れて夜空の 星に隠して
ひとみ溢れる しあわせ雫 零れて夜空の 星に隠して

酔舞の唄

G

路地裏の安酒場 いつもの酔っぱらい

C Cm G E7

うたかたの夢語り グラスをかたむけ

Am D7 C7 G

その気になったら 一曲やってよ

G

飲めるほどに 酔えるほどに ステップ踏んだら

C Cm G E7

しかめ面の奴の肩を 叩いておやりよ

Am D7 C7 G

世の中 そんなに 難しくないぜ

B7 Em Cmaj7

右か左か 白とか黒とか 善とか悪とか

Am A7 D7 D#7 D7

答え 急いで 身動きとれずに シタバタ

あの娘 何処の子 カード並べて 怪しい占い
おいら一生 独身だそうなの そうかも知れんね
女房 子どもが くしゃみをしてるよ

酔える阿保に 酔わせる阿保 酔わなきゃ損々
好きな唄を 歌っておくれ 大きな声でね
世の中 少しは 明るくなるよね

年がどうした 金がどうした 上司がどうした
おのれ自身は いったい何処だよ キョロキョロ

路地裏の安酒場 いつもの酔っぱらい

うたかたの夢語り グラスをかたむけ

その気になったら 一曲やってよ

蛍

C E7 Am F G C C E7AmF G C
風にゆらゆら 揺れながら 蛍が 河を渡ってゆきます
C E7 Am F G C C E7Am F G C
暑すぎた夏をくぐりぬけ 焦がした肌が 照れくさそうに
G F C
あなたは どこから 来たのですか
Am Em F C
これから どこへ ゆくのですか

線香花火が 弾けて落ちて 浴衣の裾を かすめて消えた
それでもチリチリ 残り火抱いて わずかな命 燃え尽きるまで
あなたは どこまで ゆくのですか
ここには もどって 来ないのですか

1番大事な一言が
思い出せずに 落ちつかなくて

風にゆらゆら 揺れながら 蛍が 河を渡ってゆきます
小さく小さく小さくなって 蛍が 河を渡ってゆきます

冷やし汁

C G F C

いりこ 強い火で カラカラ

C G F C

笑いとばして カラカラ

C G F C

冷めないうち 頭どけ

C G F C

つまらぬこと 考えぬ

G F

炒り胡麻 一緒に すりつぶす

G F

お世辞は 言えぬが ゴリゴリと

C G F C

こまかく すりつぶす

C G F C

身を粉にし 誰のため

たまり 醤油を タラタラ

人の 噂は ホドホド

残りごはん こさいだら

ひや飯 食らい 毎度毎度

でがらし かけたら グルグルと

思い出 めぐらし グルグルと

かきこみましょう サラサラ

さめた顔して 冷やし汁

かきこみましょう サラサラ

さめた顔して 冷やし汁

辛抱せえよ

G D Em Bm

辛抱せえよ 辛抱せえよ

C G Am D7

愚痴は 言わぬよう 人を傷つけぬよう

G D Em Bm

辛抱せえよ 辛抱せえよ

C G D G

誤解 生まれても 恨むな 命

C D G C D G

時間に追われて 少し 疲れただけさ

Am D7 G B7 Em

そんなに 悪いことばかりじゃないさ

C D G

うつむくのは やめよう

辛抱せえよ 辛抱せえよ

力み過ぎぬよう 自分 誤魔化さぬよう

辛抱せえよ 辛抱せえよ

人を追い詰めても 残らぬ 命

思いやり 優しさ 言葉に頼れば

どんどん 軽く ウツベになるさ

みつめていれば いいだろう

辛抱せえよ 辛抱せえよ

辛抱せえよ 辛抱せえよ

近頃うつむきかげんの人へ

G Bm C G C G
自分の弱さだとか 淋しさだとか
C G Am D7
隠すことが すべてじゃないにしても
G Bm C G C G
わかっているんですよ あなたも僕も
C G Am D7
この命続くかぎり つっぱることも
C G Bm Em
ふたつにひとつと 答え突きつけられ
C G D G
選べぬ事は 臆病ですか
C G C G
どうしてそんなに 急ぐのですか
C G D G
気に病むことが 多すぎますね

わかってくれない人を いつもいつでも
心の奥に ひっかけてるから
となりでそっと ほほえみかけてる人に
気づかないまま うつむいてばかり
あたらずさわらず その場しのぎで
苦しむだけの 答えをさがす
どうしてそんなに 嘆くのですか
顔をあげなきゃ 前は見えない
ふたつにひとつと 答え突きつけられ
選べぬ事は 臆病ですか
どうしてそんなに 急ぐのですか
気に病むことが 多すぎますね

そんなに あんまり あせらずに 「されど」も「たかが」もいいけどさ
それでも やっぱり 生きている 「らしく」「らしく」とつぶやきながら
それでも やっぱり 生きている 「らしく」「らしく」とつぶやきながら
「らしく」「らしく」とつぶやきながら

びすたちお

G D Em C G D
「少年よ 大志を抱け」「少年よ 大志を抱け」
G D Em C G D
「少年よ 大志を抱け」「少年よ 大志を抱け」
Am D7 Am D7 Em
素直な少年は 大きな志を 立てた
Am D7 Am D7 G
いつしか少年は 夢を描きながら 大人になった
Em Bm Em Bm
「大志」を胸に抱き まっすぐに生きてきた
C D C D G
そして 彼は あるとき 大きな 挫折を知った

「少年よ 大志を抱け」「少年よ 大志を抱け」
「少年よ 大志を抱け」「少年よ 大志を抱け」

優しい少年は 誰にも打ち明けず 生きた
まわりの人々の 嘆きを感じながら 受けとめていた
「大志」を胸に抱き まっすぐに生きてきた
それでも 彼は こう呼ばれていた 「ひねくれ者」と

「少年よ 大志を抱け」「少年よ 大志を抱け」
「少年よ 大志を抱け」「少年よ 大志を抱け」

うんざり

C E7 Am Am/G F7

わたしは こんなに がんばって いますと

C E7 Am Am/G F7

ひとりで こんなに がんばって いますと

G F C

無理を するもんだから

C E7 Am Am/G F7

あなたも もっと がんばって ほしいと

C E7 Am Am/G F7

言わないまでも がんばって ほしいと

G F C

いつも 空まわりする

G F7 C7

自分だけが 自分だけが 自分一人が

G

愚痴愚痴愚痴愚痴愚痴愚痴愚痴愚痴愚痴

Ab C7

ああ～うんざり

わたしは こんなに 苦しんで いますよと

ひとりで こんなに 苦しんで いますよと

瞳 閉じてしまうから

あなたも 一緒に 苦しんで ほしいと

今は とにかく 苦しんで ほしいと

わけが わからなくなる

自分だけが 自分だけが 自分一人が

キリキリキリキリキリキリキリキリ

ああ～うんざり

今日一日生きた分だけ

G C G CG C G C
時間が惜しいから 仕事を探してる
G C GC G C GCD
出発点 何処かが 何かが 狂ってる
G C GCG C GC
そんな暮し重ねる 自分が悔しくて
G C GC G C GC
何だか哀しいやら 結局 可笑しくて
D Em Bm G
忙しさに塗れ 自分を見つめた時
D Em A7 D
これでいいんだよと 無理やり慰めて
CGCG CG D
僕の心よ それでも 届いて
CGCG D Em GCGC
僕の心よ 今日一日 生きた分だけ

明日が気になるから 今夜はここまでなんて
きっと心の何処かに 余裕があるんだね
今を生きることに 突っ走ってきたはずなのに
知らず知らずに ゆとりをおぼえてさ
自分の言葉に 嘘はつきたくないよね
そのくせ 誤解だと 自分をかばって
僕の身体よ それでも 届いて
僕の身体よ 今日一日 生きた分だけ

恋の唄

C F C

それは 幼稚園の時でした

C Dm G

瞳のかわいい えりちゃんを

C F C

家までおくれた その帰り

F C G C

自分の家が わからない

F G C C C/B Am F G# G C

バイバイバイ バイバイバイどこかで また あえたらいいね

それは 小学2年生
おでこの不思議な みなちゃんは
頭がよくって ガキ大将
なぜか子分の 僕でした
バイバイバイ バイバイバイ
どこかで また あえたらいいね

それは 小学4年生
みそっ歯だらけのひろみちゃん
スポーツ万能 子供会のエース
いつもいつでも 走ってた
バイバイバイ バイバイバイ
どこかで また あえたらいいね

それは 小学6年生
ショートカットの 京子ちゃん
こっくりさんのとりもつ縁で
喧嘩相手が 照れていた
バイバイバイ バイバイバイ
どこかで また あえたらいいね

香々地伝説

Am Dm Am C E7
香る香々地の 昔の話 きかせておくれ 夜どおし夜とき
Am Dm G E7 F Am
堅来村から 羽根をぬけ 夷まわって 山の神
G C F GCE7 Am Dm
六郷満山 カンカシ媛は 鬼も恐れる つわものだとか
G E7 F Am
逢ってみたいね 蚊帳を抱き

長崎鼻の太郎の岩は 病の母を 命とかえて
俺にもできたか 肩たたきなら もう少し早く ここに来りゃ
夷の谷の 兄弟石よ ひねくれすぎた 心の傷を
毒と一緒に 食らわば食らえ

論田川の 飲兵衛の河童 逆さ相撲に 舌をまいたさ
飲み明かしたいね 施恩寺通り
香る香々地の 昔の話 きかせておくれ 夜どおし夜とき
伽藍村から 見目をぬけ 尾崎まわって 海の神
堅来村から 羽根をぬけ 夷まわって 山の神

また会うためにさようなら 詞：高崎茂直 曲：森山武彦

大分県立香々地青少年の家 別れのテーマ

C G Am Em
ほんの短い 時間だけれど
F Em Dm G
私の知らない あなたに出会う
C G Am Em
今からふたりは ともだちさ
Dm Em G C
会うたびふたりは ともだちさ

F G C A7
ここは 海風 かおるまち
Dm Em D7 G
みんなのこころの かおるまち
Am Em
またね またきてね
Am Em
またね またきてね
DmEm Fm C
また会うために さようなら

はなしをしようよ 手をつなごうよ
あなたのぬくもり感じていたい
やさしいほほえみ ありがとう
すてきな思い出 ありがとう

ここは 海風 かおるまち
みんなのこころの かおるまち
またね またきてね
またね またきてね
また会うために さようなら

真玉慕情

C Dm Em Dm G7
岩の清水も 絶えまなく 黒土耶馬 椿堂
C Dm Em G F C
弘法さまが ひとやすみ さした杖から うまれた
Am Em Dm Em F Em G C
おぼれおぼれの 谷へとくだり 逢瀬の川に 舟を出す

白丸 赤坂 猫石 三嬢ギツネに 茶化され
やせだ地蔵に 施餓鬼をし 栗嶋神社で 願かけ
すがりすぎて 峠越えても 恋する人は コンとなく

白妙姫の石棒は 野ぎく花咲く 臼野村
戦にでかけ 帰らない いとしい人の 形見か
ひと夜ふた夜と 身をけずり 待ちくたびれて 砂となる

直入旅情

C Am Dm G F C Dm G
長湯 直入 いでゆの里は しず香 御前に 千寿の湯
Em Am DmAm G C
ダラン芽抱いて 土産にしると 人の情けに ホロホロホロリ
F C G C
小津留 芹川 下竹田

久住 大船 黒岳ながめ イヌワシ何処と カジカが鳴いた
祭り 祭りで 酔いも序の口 人義 人義で 心もとける
城後 釘小野 名子山あたり

天満 丸山 権現山へ 薬師如来もほほ笑みかける
太公望にひと声かけりゃ エノハひっかけ 舌鼓
湯の原 柚子柑子 神堤

ケヤキ ヒイラギ ツクシシャクナゲ 清滝の水に 己を写し
蒼い月見て がに湯に寄れば あんたどこんし また酒をつぐ
社家に 栃原 日向塚

私が先生になったとき 詩：不詳（宮沢賢治？）

C G Am Em F Em Dm G
私が先生になったとき 自分が真理から 目をそむけて
F Em G C
本当のことが 語れるか

私が先生になったとき 自分が未来から 目をそむけて
子どもたちに 明日のことが 語れるか

私が先生になったとき 自分が理想を 持たないで
子どもたちに 夢を語れるか

私が先生になったとき 自分に誇りを 持たないで
子どもたちに 胸を張れと 言えるのか

私が先生になったとき 自分がスクラムの 外にいて
子どもたちに 仲良くしろと 言えるのか

私が先生になったとき 自分の戦いから 目をそむけて
どうして 子どもたちに 勇気を出せと言えるのか

人の値打ち 詩：江口 いと

いつか モンペをはいてバスに乗ったら
となり隣座席の人が 私のことを 「おばはん」と呼んだ
むかし戦時中 よくはいた この活動的なものを
どうやら この人は 年寄りの着物と 思っているらしい

よそいきの着物に 羽織を着て汽車に乗ったら
人は 私を 「奥さん」と呼んだ
どうやら 人の値打ちは 着物で決まるらしい

講演会にもある
何々大学の先生だといえは 内容が悪くとも
人々は 耳をすませて聞き よかったと言う
どうやら 人の値打ちは 肩書きで決まるらしい

名もない人の講演では 人々は そわそわとして 帰りを急ぐ
どうやら 人の値打ちは 所属や学歴で決まるらしい

立派な家の娘さんが 部落にお嫁に来る
でも 生まれた子ども やっぱり 部落の子だと言われる
どうやら 人の値打ちは 生まれた所によって決まるらしい

C G D G
人々は いつの日 この過ちに 気づくであろうか

C G D C G
人々は いつの日 この大きな過ちに 気づくであろうか

わたしと小鳥とすずと 詩：金子みすゞ

G D Em C
わたしが両手を ひろげても
G Em Am D
お空はちっとも とべないが
G D Em C
とべる小鳥は わたしのように
G Em D G
じべたをはやく 走れない

G D Em C
わたしがからだを ゆすっても
G Em Am D
きれいな音は でないけど
G D Em C
あの鳴るすずは わたしのように
G Em D G
たくさんな うたは 知らないよ
C Bm Em G
すずと 小鳥と それから わたし
C Bm D G
みんな ちがって みんないい
C Bm Em G
すずと 小鳥と それから わたし
C Bm D G
みんな ちがって みんないい

ねえ マスター 曲：真田康徳

E

時間が西へと 暮れる街 いつもの店へと 急ぎ足

A

E

今夜も誰かの 何やらで 口実のネタは 星の数

B7

A

素敵な 出逢いを 夢見ると

E

B7

いつもの 野郎が 酒をつぐ

G

D

C

「来なけりゃいいのに」奴が言う

G

D

C

C7

E

B#7・B7

「こちらの台詞」と苦笑い ねえ マスター

「彼女は近頃どうした？」と 尋ねりゃ タバコに火をつけて

「おまえはいいさ」と指さされ 何がいいやら うやむやで

昨日も 明日も あさっても

俺たち いつまで ここにいる？

どちらが お先に かけつくか

うさぎとカメでも あるまいに ねえ マスター

昨日も あしたも あさっても

俺たち いつまで ここにいる

どちらが お先に かけつくか？

うさぎとカメでもあるまいに ねえ マスター

ねえ マスター

寒い寒いこんな夜

G GdimAm D7 G Gdim Am D7

イブの夜 すれちがい いい訳の イチゴのケーキ

Cm G Bm Em Am D7 G

ふくれっつら とけていく いつでも 僕 ここに居るから・・・

明日も 明後日も 雨の日も 風邪の日も

今日の君に 逢えますように いつでも 僕 ここに居るから・・・

明日は雪かな

B7 A7 E7
あしたは 雪かも 知れないね？

駄菓子屋YASUから

C E7 Am F7
遊び足りずに 夕暮れ カレーの香りに さそわれ
 C A7 D7 G CA7D7 G C
カラスと一緒に 帰ろう あしたも また 遊ぼう?…ゆびきりげんまん

ニッケ キャラメル 芋あめ 2B 駄菓子屋 チョロQ
手伝いするから おくれよ?明日も こづかい!
…たのむよ かあちゃん?…
手伝いするから・・・

*駄菓子屋YASUからなつかしい言葉が出てきました。2B弾・ねぶりくじ・銀玉鉄砲・バラキャラ・いもあめ・ニッケ・癩癩玉(投げ玉)・ゴム銃・紐飴・チョコQ・すもも・紙芝居・バランスの悪い黄金バット・ソースを塗った海老煎・絵入り・ガム・ココアタバコ・チョコクリーム・パイプ・チクロ入チョコ・チューブチョコ・コンバットセブン・G1ジョー・ひみつのアッコちゃんコンパクト・平駒・ベー駒 etc・・・

寺子屋HIROへ

G Am
やさしさ 故に ひとりで苦しみ そして 悩み 傷つき

G Am
叫んでいいよ 泣いてもいいよ もちろん笑ってもいい

G F Am G F Am
そうです いつも 僕は ここに居るから・・・

臆病 故に 心の扉 いつも かたく 閉ざして
ころんでいいよ 逃げてもいいよ もちろん やすんでもいい
ここまで おいでよ 僕は ここに居るから・・・

ここまで おいでよ 僕は ここに居るから・・・

春かな？

春ですか？ 春ですね？
表に 出て みましようか？

春爛漫

C G D G C G D G
薄絹 羽織り 淡く 色づき 光の帯に 景色も揺らぐ
C G D G C G D G
ねぼけまなこにゃ 鮮やかすぎる 真綿の帽子 ネコヤナギ
Am Bm C D G
涙 ひとり 浮かべて 何をみてるの? どこで憶えた悪い癖?
Am Bm
そろそろ 表に出かけませんか?
C D G
そろそろ コートを 脱ぎませんか?

温かい雨 優しさとかし 桜のじゅうたん 悪戯な風
七色 絵の具 空にふりまき 虹をかけましょう あなたのために
うぐいす色した 笑顔を抱いて 昨日と違う 君に逢えるね?
そろそろ 表に出かけませんか?
そろそろ 駆けてみませんか?
そろそろ そろそろ・・・

あなたに逢えて・・・

C G F C

空 海 そして 大地

C G F C

あなたに 逢えてよかった

C G F C

夢 愛 そして 光

C G F C

あなたに 逢えて よかった

>>>無題

苦労話の ひとつやふたつ 他人にきかせて 損するものか
言葉さぐって 気に病むほどに 覚める自分は 又 愚か者

伝える心も なくせをして 思わせぶりは 八方美人
「明日」夢を 使うから 「今日」のこの日が 軽くなる

あなたに逢えて よかったと 何故その一言が 遠回り
重たいふりをしてるだけ 人生 我が身が 照れ隠し

いいも悪いも 答えるものか 誰が決めたか 体裁の道
好きも嫌いも 言えないものに 訊くだけ野暮だよ おのれの道を

寄り添う術が 人だけど 人を語るな 寄り添えぬ人
あげ足とるのは 一人前 気づかぬふりして 準備周到

あなたと一緒に 歩こうと 何故その一言が 遠回り
上手に生きてる 馬鹿一人 人生 我が身に 何もなし

あなたに逢えて よかったと 今 その思い伝えたい
明日の風はわからぬままも 今 この思い伝えたい

少し ゆっくり・・・

Am C DmC F G F Am
ふらり ふられて 通り雨 やむに やまれず 雨宿り
Am C Dm C FG F Am
気づかなかった いつもの道で 小さな つゆくさ つぶやいた
FG C Am G F G F Am
「少し ゆっくり いきなさい 抱えた想いが 濡れぬよう」

空に むかって 背伸びして 口笛 吹いたら 歩きましょう
焦った身体を 振り返り あなたが 微笑 かけれるように
「少し ゆっくり いきなさい 不器用 そのまま 伝わるように」
「少し ゆっくり いきなさい」「少し ゆっくり いきましょう…」

ごらん?

Am F G C E
放り投げてごらん すべて背負い込むことはないでしょ?

Am F G C E
ずっとけてごらん 少しぬけてる方が楽でしょ?

Am F G C E
微笑んでごらん あなたのそばの気になる奴に?

Am F G C E Am
夢 語ってごらん きっと うなずく人がいるでしょ?

やってみてごらん ダメだなんて決めつける前に
動かしてごらん 君のまわりの小さなことから
汗 流してごらん 指の先まで 命 めぐるから
見渡してごらん ほら 君をみつめる視線 気づくから

なんとなくⅡ イメージ：YASU

E

なんとなく 話がしたくて
なんとなく 風が心地よい
なんとなく 心に 陽がさした

一緒に 喜んでくれる人がいて
一緒に 泣いてくれる人がいる
なんとなく 気づいて…

なんとなく 微笑んだ
なんとなく…なんとなく…

焚き木 イメージ：ふーらいさん

DG D DEmA7

夜に抱かれて 月が笑った

DG D Em Gm D

肩の荷物を もうおろしてしてもいいよと

Em F#m Em F#m EmGm A7

見えないものが 見えてくるまで ここで おやすみ・・・

DG D DEm A7

空を見上げりゃ 星もうなづく

D G D Em Gm D

すべて あるがまま 君を 信じていいよと

*KENさんの趣味の掲示板から ふーらいさんがおいで下さいました！ありがとうございました・・・静寂の中にもいろいろな心地よい音がありますね。ともすれば、静寂＝音のない世界、と思いがちですが耳を澄ませば、いろいろと聞こえてくる。何人かで山奥の溪流でキャンプをして、焚き火を囲み、ある人は静かにギターを爪弾き、ある人は物思いに、ふけりながら、焚き火の炎を見つめている。一見、暗いように見えるけど、それぞれには、贅沢な至福の時。そして、ふいに「俺は今まで、自分勝手だったな、かーちゃんにもっと優しくなろう」なんて思ったりする。(笑)自然界にどっぷり浸ると普段、見えてないモノが見えてきたりする。そして、自分も捨てたもんじゃないな、もう少し頑張ってみよう、という活力が出てくる。(ふーらいさんのメッセージより)

あっくんの旅 イメージ：KIMI & MAYU

C Dm F G
君の瞳に 何が見える 僕に 教えてくれないかい？

C Dm F G
一歩 踏み出す スニーカーが そうさ 君の新しい旅

Am F G E
まっすぐ まっすぐ 僕と 歩いてくれないか

Am F G C
まっすぐ まっすぐ 君と 歩いてみたいんだ

君にきこえる この唄は 誰かの心 癒すかな
ひとりぼっちじゃないことを 感じた 君の新しい旅
ゆっくり ゆっくり 僕と 歩いてくれないかい？
ゆっくり ゆっくり 君と 歩いてみたいんだ・・・

*子どもの日：上人ヶ浜公園にて「あっくん MY CAR」今日も「新しい出会い」に気づかせてくれました・・・あっくん！ありがとう・・・

「夜想曲」 詩：ホキト

AmG Am AmG Am
山に日は落ちて 暮れゆく帰り道
AmG Am AmG Am
僕の思い出を あなたに伝えたい
E Am E AmGAm
やがて星も光り 家に灯りがともる

川のせせらぎは やさしく流れゆく
あなたの夢の中 僕はいるのかい
ごらん月も出て 街に ほら おやすみを・・・

風はひとりごと 静かにささやいて
誰も見ていない 夜空に流れ星
そっと 雲も切れ 明日も 晴れだろか？
晴れだろか？

私は誰でしょう？

Am G F E7
二つの顔を 持ってる貴方 今夜は御機嫌いかがでしょう
Am G F E7
「僕は 僕だ」とこたえるんでしょ？ たしかに いまでも 変わらない
Am G F E7
言いたいことは いっぱいあるけど 全部 自分に 帰るね
Am G F E7 Am
「私が 私で ありますように」気づかないまま 教えてくれたね

「人生 峠を 過ぎました」と 物知り顔の人が言う
それでも 貴方は 嫌いでしょ？「わかったふりをする人」が
「今日のあなたの運勢」が 自分を変えれるものならば
見てもぬふりをしてました それでも 気に病む 貴方でした

「貴方」が「貴方」を歌える時まで 「私」が「私」でありますように
「ライター」よりも「マッチ」が好きな 「貴方」で今でもありますように

やってみんさい…

E A E B7
真剣勝負を かけられたなら
E A B7 E
あんに その気が あるんなら
E A E B7
ちっと 黙って おきんさい
E A B7 E
とにかく 動いて みんないや
A E
身体が 答えを 出す前に
A B7
繕うことは やめんさい
E A E B7
断ち切ることも 必要でえ？
E A B7 E
「優しさ」「言い訳」しんさんな…

からから

昨日が 躓いた朝に 白い影 ゆらゆら 揺れてた
涙のかけら あつめて 乾いた心 癒して
「優しい心も あるよ」と 風の街 石ころ蹴飛ばす・・・

闇に 浮かべた言葉 手繰り寄せ 雨に 煙る町並み そろそろ
強がり 意地張り 疲れるよりも 冷たい雨を この身に うけて
慰めもらう その前に あなたと笑っていたいよ

夢は いつも からまわり 頭の中 からから からっ風
クリック ひとつで リセットなんて 便利になったね 大嫌いだよ
追いかけるほど 哀しくなるね だから 向かい風が 好きなんだ

思いを語れ

C G F C F C G C
裏切られても 信じることから 奪われても 与えることから
Am Em F C Dm Em G C
寂しくても 分け合うことから 悲しくても 微笑むことから

いつからだろう ここに居るのは 他人にきくだけ 野暮なもんだね
流されるなよ おまえだけでも あこがれなんだよ 一匹おおかみ

敵をふやして 何が得する それでも噛みつけ 気づかぬ奴を
握りこぶしで 答えてやれよ ほんとの笑顔は それからでもいい

想い道

D G D G D G A7 D

無理をせず 背伸びせず そこに 自分があるように

D G D G D G A7 D

雨に濡れ 風に吹かれて あるがままを 受け止めて

G F#m Em A7

あの街の あの人も 唄ってるかな？

G F#m A#7 A7

ギターの傷 ひとつ ふたつ 増えたかな？

D G D G D GA7D

おどおどするな いらいらするな そして 流れる雲になれ

D G D G D G A7 D

雲になったら 川になれ 川になったら 海へ行け

虹・夕焼け・流れ星

A A#B E A A# B E
洗濯物を取り込んで 夕立過ぎ ほっとして

AA# B E A
見上げた空 虹が笑ってた・・・

カッターシャツ アイロンがけ 願い事を 思い出し
ふりかえると オレンジの雲・・・

D E F#7
静かな時間だけが 通りすぎていきます

Bm E A
そろそろ・・・夕食の仕度・・・

表通り はしゃぐ声 お鍋の中 ぐつぐつと

「ただいま・・・」「宿題が先よ・・・」

エプロンで 手をふいて 「これでよし・・・」できあがり
カーテンごし 流れ星 ひとつ・・・

あなたの願い事は 何ですか？

何だろ？・・・思い出せない・・・

吉野の里に 詩 高崎茂直

C Em Dm G C Em DmGC
日々の暮らしに 扉をしめて 訪ねてきました この里を
C Em DmG C EmDmG C
海辺の町につづいてる 丘の小道も なつかしい
F Fm C C7 F Fm Dm G
風に向かって 駈ぬけた あなたの時間を 想っています
Am Em F Em Am Em F Em
「元気ださなきゃ だめだよ」と 叱ってくれた あのときの
Dm Em F C
あなたのやさしさ あの笑顔

うす紅色の梅の花 行き交うひとは 華やいで
今年も季節は めぐります 宇宙の上から 見ててください
あなたの夢を 追いながら 小さな歩み 誓います
あなたの生まれた 吉野の里に 今年も季節は めぐります
うす紅色の梅の花 香り ほのかに 咲きました

*僕の大先輩に「I」先生と言う方がいました。大分県の社会教育の第一人者でもある方です。今年の5月の連休にお亡くなりになりました。まがったことが嫌いでいつも真剣勝負の先生でした。そして、人一倍の気配り、心配りをされる方でした。そんな「I」先生に、高崎氏が言葉を贈ってくれました。昨夜、新しい人との出逢いからイメージをもらって書き上げてみました。これも「I」先生がいつも大事にされていた「縁」かもしれないネ?聴いてみてください・・・

古都の花 詩:ぽてちー

Em D Em D Em
いにしへの都に 咲く花は 夕日のような 紅い花
Em D Em D Em
うたかたの 夢のように 夕映えの中で 揺れてます
Am Em D G B7
朝露の中で 咲く 風花は けがれを知らない 白い花
Am Em D Em
恋に戸惑う 乙女のように はにかみながら 揺れてます
G Em C D G Em C D
橋のたもとに 一人立ち 遠い昔に 想いを 馳せれば
Em D Em D Em
夢追い人の 心の詩が ささやくように 聞こえてきます

雨に打たれて 咲く花は 涙を誘う 紫の花
儂い悲恋の 物語のように 古都の庭先 揺れてます
一瞬の光浴び 咲く花は 太陽のような 黄金色
人の心を照らすように 風に吹かれて 揺れてます
人の心は うつろいやすく 哀しいことが 多すぎるけど
私は心に 散ることのない 一輪の花を 咲かせていたい

夏の宵 詩:ぽてちー

D Em A7
幾千万の星のきらめきが 天の川から こぼれて落ちる
D Em A7
何億年も旅した光が 夕凧の都会に届く
G D Em A7 G D Em A7
おびえることなど 何も無い 明けない夜など ありはしないから
DF#7Bm DF#7Bm Em Gm D
君が流した 涙 いつの日か 心の中で 輝く星になれ・・・

蛍 群なす ふるさとの記憶 せせらぎの音 遠くに響く
夕立過ぎて やさしい風が 街路樹の梢を揺らす
急ぐことなど 何も無い ささやかな夢を この手に抱いて
君が流した 涙 いつの日か 心の中で 小さな 花になれ・・・

*七夕の夜に・・・ぽてちーさんからすてきなイメージが届きました・・・今夜は「星」は見えませんが・・・織姫と彦星も雲の上で・・・貴重な時間を過ごしている事でしょうネ？悩みはいろいろあるもんですネ？生きているんだから・・・しかたないよネ？けど・・・生きてりゃ・・・きっと・・・いいことあるよね？生きてりゃ・・・あの星の光が旅してきた時間を考えれば・・・心が落ち着く気がします・・・

風を感じて・・・詩:ふ～らい

DmGC△A7 DmG C△ Dm G A7 DmG C
肩寄せて歩いた 木漏れ日の中 緑のトンネルが 僕らを包む
Dm Em Dm Em Dm G C△A7DmG C
いろんなことが あったね ふたり きっと 君も同じ想いでいるよね

知らず知らずに 君 傷つけてたね 見守るやさしさ 「今」に気づいた
あの日の分かれ道 凍てついた道 君が選んだ道 僕が行く道

A F#m D E A F#m D E
桜舞うステージ 手拍子の中 ギター弾くミュージシャン 僕らの仲間
A F#m E Am
優しい唄に 風を感じて・・・

愁日慕情 詩:あ~さん

C F C
野に仰向きて 見上げしは
F C G C
星降る夜の 蒼き空
Em Am DmEm
ああ この静けさ 虫の音に
DmAmCFm C
幼き頃を 想いいずる

遠く霞むは わが故郷
流星群に 流れたる
ああ 浜に寄せる 小波に
幼き夢も 流れたる

旅路の果ては 秋風(しゅうふう)の
色なき風に 桐一葉(きりひとは)
ああ 稚児を抱きし 母親の
夕日に染めし 茜雲

September in Lancaster 詩:KENさん

AmG F C FC Dm G

君のいないCAMPUSの 広場の片隅で

AmGF C F CG C

君の声聞いたようで 思わず振り返る

Am G

ポニーテール揺らして 駆けよる笑顔が

Am G

人ごみにまぎれて 見えた気がした

C G F C F CDmG

バス停に続く道 広がる青い空

C G F C F C G C

君の姿 見えるよな SEPTEMBER IN LANCASTER

週末のDAY TRIP おんぼろバスシートに

かくれてしまうような 小さな君だった

短い夏の日は いつのまにか過ぎてゆき

気がつけばこの街は もう秋の風

ステンドグラス越し 涙ぐんでた

君の姿 見えるよな SEPTEMBER IN LANCASTER

星とたんぽぽ 詩 金子みすゞ

C Am Em
青いお空の底深く
F Em C G
海の小石のそのように
C Am Em
夜がくるまで沈んでる
F Em C G C
昼のお星は眼にみえぬ
F C
見えぬけれどもあるんだよ
Dm Em F C
見えぬものでもあるんだよ

散ってすがれたたんぽぽの
瓦のすきに だアまって
春のくるまでかくれてる
つよいその根は眼にみえぬ
見えぬけれどもあるんだよ
見えぬものでもあるんだよ

いつも CAPO2

G D EmBm Am Em Am D7

いつも いつも いつの時でも 僕は ここで歌ってるから

G D EmBm Am Em D G

君が僕を必要ならば 思い出したら 訪ねておくれ

C G C G

悲しい時 寂しい時 苦しい時 おいでよ

Am Em D G

照れくさいけど そばいるよ

いつも いつも いつの時でも 僕は 僕を 探していたよ

だけど 今は 少しちがう 君の居場所 僕が見つけた

安らぎと 温もりと 疲れたら おいでよ

人ごみの中 君を思うよ

悲しい時 寂しい時 苦しい時 おいでよ

照れくさいけど そばいるよ

別府日本旅館「伊賀屋」にて

C Em Dm G C Em G C
長崎から 阿部さんが 別府にやって 来てくれました
C Em Dm G C Em G C
お父さんの 叙勲祝いに 親戚総出で 旅館 乗っ取り？
F Em Dm G
お孫さん バイオリンやら 昔話やら
F Em D7 G
お母さんの 「瀬戸の花嫁」 なかなかでしたよ
C Em Dm G C Em G C
温かい中に みんないて その中に僕も 溶け込みました

都会の香りの お姉さんは 金子みすずが 好きなんですね
妹さんも 楽しい方で お年玉は 返してもらいましょ？
お孫さんから お酌を頂き 今夜も いい気分
連れ合いさんから お礼を言われて こちらも ペコペコ・・・
それにつけても お父さんの 「月の砂漠」が 聴きたかったなァ？

ほんの短い時間でしたが お世話になりました
なまえも訊かずに 馴れ馴れしくて 失礼しました

お祝いに 駆けつけた僕が あべこべに 激励されました・・・
お土産ありがとう・・・これからもよろしくネ・・・
長崎に行きます・・・
みんなで・・・行きます・・・

やっさんの恋の唄

それは中学一年生 見上げた瞳が 可愛くて
そばに居たくて 居れなくて そっと 見ていた 僕でした・・・
バイバイバイ バイバイバイ
どこかで また 逢えるといいね？ (2001・1・30)

ふうさんの恋の唄

あれは ミュンヘンオリンピック 泳ぐ姿が まぶしくて
その気になって (スイミング) スクール通い 夢は叶うと 信じてた
バイバイバイ バイバイバイ
どこかで また 逢えるといいね? (2001・1・30)

向陽台 詩：黒木俊英

C Dm Em F Em Dm G
小城の観音 花吹雪 願いこめての 東風が吹く
C Dm Em F Em G C
空港は豊後の 道すじに 昇る旭日に あらたなる
E F C Am Dm G
裕と希望の ニュータウン 輪い彩り ひまわりに
F Em Ab C
和む ハイテク 向陽台

丘陵の涼風 村人に 灘の漁火 しみじみと
忘れられない 風情に 明日の力を 呼び覚ます
融て偉観の ニュータウン 両子遥かに 先人の
学ぶ ハイテク 向陽台

山河たなびく 朝霧に 燃える思いの 里人が
子等に望みの 夢託す 小鳥も巣立ちの 空の舞い
遊ぶ美郷の ニュータウン 川のせせらぎ たえまなく
愛の ハイテク 向陽台

子守唄 詩・曲 ふうさん

G Em G D
大人にも 子守唄が 必要な 時がある
G Em G D G
疲れきった 身体しずめ 深く眠りの 海の底へ
C D G Em Am D
ゆらゆらと 身をまかせ あなたの唄を くちずさむ
G D Em Am D G
いつも いつでも わたしのそばにいて

生きることに 突き放され 流れてきた 優しい唄
歌い人の 想い受けて 遠く眠りの 空にとける
きらきらと 星のように 静かに こぼれる涙が
いつも いつでも わたしのそばにいて

人ごみに もまれながら 置き忘れた 夢のかけら
焼けた心 癒す雨が 子守唄を 歌っている
しとしとと ささやくように あなたの唄が きこえる
いつも いつでも わたしのそばにいて

夏が過ぎたら 詞：ひでとしさん

C Em Am Em Dm EmDm7 G
雨が降ったら いつもの駅の お店の中で待っているから
C Em Am Em Dm Em G C
約束してた 映画見に行こ あなたが好きな カステラ買って
F Em G C F Em D7 G G/D#
映画が終わる その頃はもう この雨だって 止んでいるから
C Em Am Em Dm Em G C
そしたら二人 傘をたたんで 虹を見ながら ゆっくり歩こ

空が晴れたら 教えてくれた 海岸通り いっしょに遊ぼ
私が好きな テトラポットの 上に登って Vサインしよ
夏が過ぎゆく その頃はもう 遠ざかる陽が 海の向こうに
眩しい赤で 沈んでくから 心にそっと しまって歩こ

二人の夏が またもう一度 訪れるよう 星座に祈ろ
あんな辛さが もう来ないよう あなたの肩に 寄り添い歩こ

たんぽぽ 詞: 由幸さん

Am Em Am Em

雪深く 眠る たんぽぽ

Am Em AmGAm

南風で 目を覚ます たんぽぽ

Am Em Am Em

どんなに 綺麗な 薔薇よりも

Am Em AmG Am

道端で ほほえむ たんぽぽ

G Am G C E

この広い 春待ち大地 駆け巡れ 野山を越えて

Am Em Dm C F

やがて 心が 色鮮やかに 染まるまで

G AmGAm

何処までも 何処までも

春風に そよぐ たんぽぽ

ちょうちんと 遊んでいる たんぽぽ

はかなく 散り行く 桜より

野原で ふわふわ たんぽぽ

この高い 雲行く空を 舞い上がれ 時を越えて

やがて 心が 色鮮やかに 染まるまで

いつまでも いつまでも・・・

天の川

C Dm7-5 Fm C
うつろうつろに 蚊屋の夜
Dm Esus4 E
ひとり待つ身のもどかしさ
C Dm7-5 FmC
今宵も渡れぬ 河に
Dm Am
臥待ち 貴方を想う
C B \flat dim Bm7-5 Am
空に 横たう 天の川

旅路を照らす 彦星
背を向け 織姫 家路へと
一年一度の逢瀬
十六夜 黄昏に酔う
空に 横たう 天の川

遠く遠くに 夏の夜
願い叶わん 笹の端
いわれも儂き 伝え
立待ち あの空に舞う
空に 横たう 天の川

雀のかあさん 詩：金子みすゞ

Am EmAmGAm
子どもが 子雀つかまへた
Am Em F GAm
その子のかあさん笑ってた

雀のかあさん それみてた

お屋根で鳴かずに それみてた

春宵感懐 詩：中原中也

G Em Am D7

雨が、あがつて、風が吹く。

G Em Am D7

雲が、流れる、月かくす。

G Em Am D7

みなさん、今夜は、春の宵。

G Em Am D7

なまあつたかい、風が吹く。

なんだか、深い、溜息が、
なんだかはるかな、幻想が、
湧くけど、それは、掴めない。
誰にも、それは、語れない。

誰にも、それは、語れない
ことだけれども、それこそが、
いのちだらうぢやないですか、
けれども、それは、示かせない…

かくて、人間、ひとりびとり、
こころで感じて、顔見合せれば
につこり笑ふといふほどの
こととして、一生、過ぎるんですね

雨が、あがつて、風が吹く。
雲が、流れる、月かくす。
みなさん、今夜は、春の宵。
なまあつたかい、風が吹く。

唄うたいの歌

AmEm F Am F G F Am
流れ星を 数えたら 望みひとつ 叶うかな
AmEm F Am F G F Am
涙 ひとつ 落としたら 少し 素直になれるかな

C Em AmEm Dm G C G
夜汽車に 揺られて 明日へ 唄を運ぶ
C Em AmEm Dm G C
あの町の あの人は 今も 元気にいるかな
C Em AmEm Dm G C G
ギターの傷と思い出 ひとつふたつ増やして
CEm AmEm Dm G C
新しい この唄 あなたの町まで ひと眠り
AmEm F Am F G F Am
遠い虹を 探したら 夢が たしかに見えるかな
AmEm F Am F G F Am
ため息 ふたつ 飲みこめば いつか幸せ 来るのかな

間奏

C Em AmEm Dm G C G
出会った 春の陽 重荷 背負った 夏
CEm AmEm Dm G C
秋風に すれ違い 肩寄せあった 冬
AmEm F Am FG F Am
巡る季節 くり返し 少し優しくなれるかな
Am Em F Am F G F Am
笑顔 みつつ こぼれたら もう一度 一緒に歌おうか

流れ星を 数えたら 望みひとつ 叶うかな
涙 ひとつ 落としたら 少し 素直になれるかな
遠い虹を 探したら 夢が たしかに見えるかな
ため息 ふたつ飲みこめば いつか幸せ 来るのかな

巡る季節をくり返し 少し優しくなれるかな
笑顔 みつつ こぼれたら もう一度 一緒に歌おうか

MOMO

G Em Am Em C G A7 D7

夕立過ぎて 雲が切れ 山蝉時雨が 戻ってきたよ

G Em Am Em C G D G

散歩にいとせがむ君 昼寝の時間は増えたけど

G Em Am Em C G A7 D7

雷 苦手な 耳を下げ 上目づかいで 僕を見るなよ

G Em Am Em C G D G

無邪気なしぐさのひとコマが すさんだ心を癒してくれたね

C GB7 Em C G A7 D7

今日はどこまで行けるかな 知らない路地に入ってみるか

Em G Em B7 Am Em C Em D7

走れ 走れ 走り疲れりゃ そのまま道草 寄り道 気ままな旅さ

おぼえているかな この家に ダンボール箱で来た日のことを
あれから 幾度の夏だろう季節を留めることはできないけれど

もう少し そばに居させておくれまだまだ 弱気な僕だから
歩みののろい人間だけど食事の時間は同じにするから (笑)

今日はどこまで行けるかな知らない路地に入ってみるか
走れ 走れ 走り疲れりゃそのまま道草 寄り道 気ままな旅さ

間奏

C G B7 Em C G A7 D7

今日はどこまで行けるかな 知らない路地に入ってみるか

Em G Em B7 Am Em C Em

走れ 走れ 走り疲れりゃ そのまま道草 寄り道 気ままな旅さ

走れ 走れ 走り疲れりゃ そのまま道草 寄り道 気ままな旅さ

道草 寄り道 気ままな旅さ

気ままな旅さ

土 詩：金子みすゞ

C Em Am Em

こっつん こっつん 打たれる土は

F Em Dm G

よい畠になって よい麦生むよ。

C Em Am Em

朝から晩まで 踏まれる土は

F Em Dm G C

よい路になって 車を通すよ。

Am

打たれぬ土は

Em

踏まれぬ土は

Dm G

要らない土か。

F Em

いえいえそれは

F Em

名のない草の

Dm G C

お宿をするよ。

一番星

C D G C D Em
はしゃぎすぎて 弾けた あの日の夢
C D B7 Em AmD Em D7
照れくさくて おどけた 蒼い夏の夜

G D Em C G Em Am D7
一番星 見つけるまで 返事はいらぬと
G D Em C G D Em
意地っ張り へそ曲がり 時間だけが過ぎた
G D EmC G Em Am D7
流れる街 行き交う人 どこまで来たんだろう
G D EmC G D Em
握りしめた 拳を今 誤魔化してないかな
C D G C D Em
振り向くのが恐くて うつむいてた
C DB7Em Am D Em D7
忙しさに紛れて 空も忘れていた

G D Em C G EmAm D7
信号待ち 交差点 矢印はどこを指す
G D Em C G D Em
行きたい場所 待っている人 街角 立ち尽くす
G D EmC G Em Am D7
母の背の赤ん坊が 僕を見て微笑んだ
G D Em C G D Em
澄んだ瞳 眩しくて 苦笑いをひとつ
C D G C D Em
はしゃぎすぎて 弾けた あの日の夢
C D B7 Em AmD Em D7
照れくさくて おどけた 蒼い夏の夜

G D Em C G Em Am D7
G D Em C G D Em

振り向くのが恐くて うつむいてた 忙しさに紛れて 空も忘れていた
はしゃぎすぎて 弾けた あの日の夢 照れくさくて おどけた 蒼い夏の夜

オニオンスライス

G Em G Em
月が綺麗だ 風が冷たい
Am Em C D
震えながら ビールを飲んでいる
G Em G Em
あいつのことか あの娘のことか
Am Em C G
躓いた石 握り締めて笑ってみる

Am Em Am Em C G D G
たまねぎは苦手だけれど 命にかかわることじゃない

声が聞こえる 誰の声だ
揺れるブランコ 耳を澄ます
まだ見ぬ道か 他人の夢か
また会う約束 どこのだいつだ

たまねぎは苦手だけれど 命にかかわることじゃない

答えは出ない 突きつけられても
サイコロ転べば ふりだしに戻る
黄泉の国か 自分の足元か
それでも少し 昨日とはちがう風

たまねぎは苦手だけれど 命にかかわることじゃない

でいらん

C F C
ゴトリ ゴトリと 揺られて
C Dm G
うつら うつらと 居眠り
C F C
流れる街を 見送り
F Em G C
僕はどこまで来たんだろう
Em Am Em
色は匂へど 散りぬるを
Dm Am F C
風に吹かれて 転がる石か

どうだ どうだと 勇んで
そろり そろりと 隠れて
飲めるほどに 酔うほどに
僕は何をしたんだろう
我が世 誰そ 常ならむ
見張塔から 天国への扉

ぽつり ぽつりと 泣き濡れ
ぶらり ぶらりと うなだれ
何のへちまと 思えども
僕は何ができるんだろう
有為(うみ)の奥山 今日越えて
女の如く 我が道を行く

フラリ フラリと 彷徨い
とろり とろりと 黄昏
すぎゆく季節を 追いかけて
僕はどこまでゆけるんだろう
浅き夢見じ 酔い(ゑひ)もせず
時代は変わる くよくよするなよ

防波堤にて

C Dm G C
黄昏 街の灯り遠くに 潮風 右の頬に吹かれて
C Dm G C G F
灯台 思い出まで巡らし 海鳴り 汚れた胸に響く
Em Am Em Am
突き刺された 哀しみも 溢れ過ぎた 喜びも
Dm F G
手繰り寄せれば 淡く 切なく
C Dm G C
別れた人の夢 数えれば いつしか 時は 西へと沈む

砂浜 誰が残した記憶 小波 心 砕けて消えた
国道 ルームライトに映る 横顔 揺れる他人の空似
引き裂かれた 苦しみも 包み込んだ やさしさも
振り返れば 胸に 沁みる
出逢った人の傷 数えれば いつしか 一番星が光る

みっちゃん

さあ みっちゃん ご機嫌いかが
E A E
さあ みっちゃん 少し歩いてみましようか
E A E
F#m E
背負った荷物も少しは 置いていきますか
F#m E
大事なものは これから 見つければいい
A E
少し夢 もうひとつ夢
C D E
踏み出した瞬間が 新しい旅

さあ みっちゃん どこへ行きますか
さあ みっちゃん 何かはじめてみましようか
いつもいつでも 何かに 追いかけてまわれ
気づいた時には 自分も 消えてしまってた
少し変 すいぶん変
今度は誰かを 追いかけますか

さあ みっちゃん 雲も切れてきたし
さあ みっちゃん 風を捕まえましようか
あきらめることも 時には 優しさなんだと
どこかの誰かが えらそうに 教えてくれたよ
少し愛 小さな愛
こんなに近くで 微笑んでいるよ

さあ みっちゃん さあ みっちゃん
さあ みっちゃん さあ みっちゃん

蜻蛉に寄す～在りし日の歌より～ 詩：中原中也

C G F C C G F C
あんまり晴れてる 秋の空 赤い蜻蛉（とんぼ）が 飛んでゐる
F C G C Fm C G C
淡い夕陽を 浴びながら 僕は野原に 立つてゐる

遠くに工場の 煙突が 夕陽にかすんで みえてゐる

大きな溜息 一つついて 僕は蹲んで（しゃがん） 石を拾ふ

その石くれの 冷たさが 漸く手中（しゅちゅう）で ぬくもると

僕は放（ほか）して 今度は草を 夕陽を浴びてる 草を抜く

抜かれた草は 土の上で ほのかほのかに 萎えてゆく

遠くに工場の 煙突は 夕陽に霞んで みえてゐる

思わぬところで躓いた

C G Am Em Dm Em Dm G

想い想われ ふりふられ それみたことか 立ちんぼう

C G Am Em Dm Em G C

独りよがりも 価値のうち おまえひとりが 何をする

C G Am Em Dm Em Dm G

人ごみの中 声をきく 静かな静かな 風をきく

C G Am Em Dm Em G C

他生の縁が 酒をつぐ あなたの声が 聞えたよ

F Em G C F Em G C

少しころんだ まわりを見渡す 誰もいなくて ホットする

Am Em Am Em Dm Em G C

哀しいね 淋しいね 痛んだ膝が可笑しかわいい

C G Am Em Dm Em Dm G

優しい言葉は 嘘に近づき 詰める言葉が 真実(ほんと)を越える

C G Am Em Dm Em G C

瞳を閉じても 耳をふさいでも 誰も知らない 自分が頷く

F Em G C F Em G C

少しころんだ まわりを見渡す 誰もいなくて ホットする

Am Em Am Em Dm Em G C

空しいね 切ないね 痛んだ膝が可笑しかわいい

ちちんぷいぷい ぽこぽこぺんぺん

C Em F C F Em Dm G
なかなか うまく いかないね 思ったようには ならないね
C Em F C F Em G C
背中も 見せたく なりますね そのくせ 振り向き 確かめる

Dm Am Em Dm G C
痛いの 痛いの 飛んでゆけ 向こうの お山の ふもとまで
Dm Am Em Dm G C
痛いの 痛いの 飛んでゆけ 向こうの お山の ふもとまで

自分が 嫌に なりますね あなたほどでは ないにしろ
踏み出す 勇気が 要りますね 他人の 仕業に するほどに

鬼さん鬼さん 手の鳴るほうへ こっちの水は 甘いぞ
鬼さん鬼さん 手の鳴るほうへ こっちの水は 甘いぞ

Dm Am Em G C
誰が突っついた 誰が突っついた

痛いの 痛いの 飛んでゆけ 向こうの お山の ふもとまで
痛いの 痛いの 飛んでゆけ 向こうの お山の ふもとまで

痛いの 痛いの 飛んでゆけ 向こうの お山の ふもとまで

【ちちんぷいぷい 七里結界】
【ぽこぽこぺんぺん 原価割れ】

我が心 抱きしめて

F G Am G Dm G C
理由さえも きけぬまま 怒りだけが 通り過ぎ

F GAm G Dm G C
ため息が 聞えた夜 わけもなく 哀しくて

F G AmG Dm G C
人の情け 身に沁みて 別れ道で 立ち止まる

F G Am G Dm G C
迷いながら 歩いてゆく 遠く霞む 天の川

Am Em Am Em Dm C E7
人生語れば 頼りなく 心の欠片が ハラハラと

Am Em Am Em Dm G C
思い出ばかりが 優しくて 我が心 抱きしめて

F G Am GDm G C
命の灯 消える瞬間 人は何が 見えるのだろう

F G Am GDm G C
蒼い星が 突き刺さる 苦しみは 誰が知る

Am Em Am Em Dm C E7
月の明かりに 照らされて 十六夜 路地裏 ホロホロと

Am Em Am Em Dm G C
最後の唄が ぐるぐると 身体 巡り巡る

Am Em Am Em Dm C E7
人生語れば 頼りなく 心の欠片が ハラハラと

Am Em Am Em Dm G C
思い出ばかりが 優しくて 我が心 抱きしめて

善良なる卑怯者

Em Am Em Am
卑怯かもしれない 逃げてるのかもしれない

Em Am G Am
それもふくめて 僕かもしれない

守るべきものが たしかにあるから
あえてここから 攻めてみたい

どこへゆくんだろう どこまでゆけるんだろう
ここもいいけど 違うところに行ってみたい

伝えたいことがある 伝えたい人がいる
面と向かって 言えないこともある

うすき竹宵 作詞 YUKINO

Am G Am F E7
賑わう人の倫屋（かぎや）の前で 欲しいと甘える竹宵あかり
Am G FG E7 Am FG E7 Am
ゆれる炎が私なの うすきぼんぼり竹の宵 うすきぼんぼり竹の宵

Am G Am F E7
人波に押されひしめく町で かばう緋の細い肩
Am G F G E7 Am FG E7 Am
格子模様の光の帯が 妙にまぶしい真光寺 妙にまぶしい真光寺

Dm Am Dm C E7
そっと忍ばし手をさしのべて 恥らう指の二王坂
Am Dm F G E7 Am FG E7 Am
燃える炎の温もりが 貴女の頬を染めてます 貴女の頬を染めてます

Am G Am F E7
ぽつりぽつりと神楽月 雨に追われて切り通し
Am G F G E7 Am
逃げて駆け込む見星寺（けんしょうじ） 明かりに濡れます竹宵の
F G E7 Am
明かりに濡れます竹宵の

Dm Am Dm C E7
般若姫の玉絵箱 別れの時を惜しむように
Am Dm FG E7 Am FG E7 Am
はしゃぐ貴女の横顔が 水面に浮かぶ臼杵川 水面に浮かぶ臼杵川

君に逢いに行こう CAPO2

C Dm F C Em Dm G

君に逢いに行こう 君に逢いに行こう

C Dm F C Dm EmF C

この仕事を片付けて 君の街に行こう

C Dm FC Em Dm G

君と話をしよう 君と話をしよう

C DmF C DmEmF C

この暮らしは棚上げで 夢の話をしよう

Em Am Em

庭の椿も見頃でしょうね

Dm Am G F C

描きかけのあの絵はできたでしょうか

C Dm F C Em Dm G

君とお酒を飲もう 君とお酒を飲もう

C Dm F C Dm EmF C

晩酌をがまんして 少し贅沢しよう

C Dm F C Em Dm G

君と唄を歌おう 君と唄を歌おう

C Dm F C Dm EmF C

できたての言葉抱いて 明日の唄を歌おう

Em Am Em

とんとご無沙汰していますが

Dm Am G F C

季節の変わり目に 逢いたくなります

C Dm F C Em Dm G

君に逢いに行こう 君に逢いに行こう

C Dm F C Dm EmF C

君に逢いに行こう 君に逢いに行こう

・・・と誰かが言ってた。

お金を貯めてるのは お金持ちじゃない人
お金を貯める必要 ないのが金持ち
余裕のある時に 考えるのが人生
余裕のない時に 考える生活
自分の主張が論理 他人の主張 屁理屈
悲しいのが差別 悔しいのが区別

聞かれてなければ 言わないのが理由
聞かれてもないのに 言い過ぎる言いわけ
やたら自分の夢 語る挫折前
やたら他人に夢 語らせる挫折後
努力でここまで 来たと言う運のいい人
運が悪いただけだと 努力しない人

俺の子はすごいと 思うのが親ばか
俺がすごいからだ とまで思うのはバカ
欲しいもの手に入れたい と思うのが理想
要らないものにまで 手を出すのが欲望
結婚前がディナー 結婚後がメシ
大事だと思うのが家族
めんどくせ~なと思うのが家庭

・・・と誰かが言ってた ・・・と誰かが言ってた
・・・と誰かが言ってた ・・・と誰かが言ってた
・・・と誰かが言ってた。

行き止まりの散歩道～五十路～

D G D A7
春の嵐と黄砂の中で 少し荒れてる散歩道
D G D A7 G D
瓦礫散らばる砂利道小道 無断駐車警告か

D G D A7
これから峠はどんどん降る 帰りの登りを予告する
D G D A7 G D
蔓に巻かれて身動きとれず 竹やぶだんだん細くなる
G D Em A7 D
行き先は 生きどまり 逃げ道も ありません
G D Em A7 D
行き先は 生きどまり 逃げ道も ありません

そんなに歩いたつもりもないが 遠くに感じる散歩道
信じていないと 進めるものか 理由を探して迷い道

自分の都合で 歩いていると 予期せぬところで傷つける
それでもまかせて 身をゆだねれば 不安も少しは軽くなる

行き先は 生きどまり 通り抜け できません
行き先は 生きどまり 通り抜け できません

いつかは歩いた道なんだけど 季節と誰かで変化する
別れ道なら選びもするが あとはおうちに帰るだけ

回り道もできないならば 道草なんぞと嘯いて
せめて時間をかけてみましょう まわりに迷惑かけぬよう

行き先は 生きどまり その先は 落ちるだけ
行き先は 生きどまり 行き着けば 戻るだけ

ぴえろ～描かれた君～

E F#m G#m F#m

何を見つめているの 心はどこにあるの

E F#m G#m F#m E F#m G#m F#m

欲しいものは何なの 誰と恋して来たの HAHAHAN

固く結んだ唇 少し溶かしてみたい

潤む瞳の陰は 誰が与えた仕業 HAHAHAN

A G#m Am G#m

こんなところまで 連れ出した僕を

A G#m F#m B7 E
どんな風に 想っているんだろう まあ いいや・・・

朝日が海に滲んで きらきら輝いてる

夜を許した理由（わけ）は 訊かない方がいいの HAHAHAN

瞬きもしないで 視線 逸らしてるけど

少し笑ったみたい 誤魔化さなくていいよ HAHAHAN

しゃべりすぎたね 言い訳ばかり

君はやっぱり 黙っているんだね まあ いいや・・・

A G#m Am G#m

こんなところまで 連れ出した僕を

A G#m F#m B7 E
どんな風に 想っているんだろう まあ いいや・・・

都合ばかりの言い訳として～卑怯者の唄～

追われてく 暮らしの中で 慰めが あるなら
ひそやかに この瞬間を 抱きしめて 温めたい気もする
心の どこかでこっそり 隠恋慕 気づかぬふりして 卑怯者
道を逸れては だめですか みんなと違っちゃいけませんか
道を逸れては だめですか みんなと違っちゃいけませんか

寂しさも 憎しみも 時として 力になる
優しさは 求めるほどに 裏切りの 刃になる
時間が ゆっくりゆっくり 過ぎればいい 星空 何度も数えたい
嘘については だめですか みんなが幸せになれるなら
嘘については だめですか みんなが幸せになれるなら

時間が ゆっくりゆっくり 過ぎればいい 星空 何度も数えたい
嘘については だめですか みんなが幸せになれるなら
嘘については だめですか みんなが幸せになれるなら
あなたが幸せになれるなら

墮天使

Am G Am G
小さく笑う 君の唇
F G F G
傷つけて みたいけど
F G E7 Am
しばらく みつめてる

Am G Am G
何も訊かない 何も言わない
F G F G
躊躇いも 打ち砕く
F G E7 Am
天使が 墮ちる夜

A D Dm Amaj7
誰もついて来れないように
F#m B#m E D Am
足跡さえも 残らぬように

雨が降りだす 静かな街に
胸に頬 おしあてて
雨音を 聞いている

星も見えない 声も聞けない
それでもたしかに 君がいるよ

おやすみ～風景画～

G Em C D G D7

少しおやすみ 眠れなかったんだね

G Em C D G

少しおやすみ 待ちわびたはずの日曜日

Em Bm Em Bm Em B7 Em

朝日は昇るよ ふるさとの町にも

Am Em Am Em Am C D7

傷つけた山や川やあの海にも

G D Em C D G

帰ろう 帰ろう 始まりの場所へ

G D Em C B7 Em

帰ろう 帰ろう そこからはじめよう

少しおやすみ 言葉が邪魔をするから

少しおやすみ 身体よりもっと正直に

季節はずれの冷たい雨も まぶしすぎる空

コスモスは見つからないけど たんぽぽ咲いてた

帰ろう 帰ろう 始まりの場所へ

帰ろう 帰ろう そこからはじめよう

朝日は昇るよ ふるさとの町にも

傷つけた山や川やあの海にも

帰ろう 帰ろう 始まりの場所へ

帰ろう 帰ろう そこからはじめよう

帰ろう 帰ろう 始まりの場所へ

帰ろう 帰ろう そこからはじめよう

帰ろう 帰ろう 始まりの場所へ

帰ろう 帰ろう そこからはじめよう

さいれんと CAPO2

Am D7Am D7 Am D7 AmD7

ゆらゆら揺れてる 紫陽花の藍に

Am D7Am D7 Am D7 Am

しとしと降る雨 毒を解かして

Cmajor7Bm7-5E Fmajor7 Esus4 E

あやとり絡んで 心ももつれて

Am D7AmD7 Am D7 Am

寝息が聞こえる 夜が深くなる

くすくす笑うは 味方か敵か

コツコツ近づく 胸騒ぐ響き

白く重い空気が 床に沈んで

そこから それから 音がすべて消えた

雨が降ってるのに 月の光が

中指に届いて 頬を少し染める

レラソ ラファレソ ファファミレドレ

ラドシ ドラドシ ドドシラソラ

鯛味噌

E G#m F#m C#m A G#m F#m B7
この世の 陰をすべて 味方につけて 酔ってみたくて くぐった暖簾
E G#m F#m C#m A G#m F#m E E7
安酒煽りと 笑わば笑え 蛇の目に隠れて かたつむり

A Am G#m
忘れない 忘れられない 忘れない
C#m F#m C7 E B7
忘れない 忘れたくない 忘れよう

E G#m F#m C#m A G#m F#m B7
盃 舐めるように 爪先見つめ 浮世の憂さを 飲み干しながら
E G#m F#m C#m A G#m F#m E E7
歪んだ器を 突付いてみれば 小さな記憶が 眼を瞑らせた

A Am G#m
思い出す 思い出せない 憶えがない
C#m F#m C7 E B7
思い出す 思い出さない 憶えてる

～間奏～

A Am G#m
気づかない 気づかれない 気づいて欲しい
C#m F#m C7 E B7
気づかない 気づきたくない 気づいてた

A Am G#m
忘れない 忘れられない 忘れない
C#m F#m C7 E B7
忘れない 忘れたくない 忘れよう

SO

D F#m Em A#7 A7
約束はしない そうならなくても 嘘つきじゃない
D F#m Em A#7 A7 D
確かめもいらない そうなったとき そうなればいい
Em A7
安心ばかり 求めていたら 増えてきたのは 疑いばかり
Bm F#m Em Gm D
そんなんじゃない そうだったよね 黒でもないが 白は似合わない

D F#m Em A#7 A7
逃げたりはしない そう言われても 追いかけてもしない
D F#m Em A#7 A7 D
突き詰めもいらない そうなんだから そうあるしかない
Em A7
足りないものを 探していたら 見つけたものは 傷口ばかり
Bm F#m Em Gm D
そうかもしれない そうなんだよね 悪ではないが 正義とも言えない

Em A7
ここに留まる つもりもないが 季節と景色 色鮮やかに
Bm F#m Em Gm D
そう思えば そんな気もする 幸せとは言わない でも不幸ではない

Bm F#m Em Gm D
そう思えば そんな気がする 幸せとは言わない でも不幸でもない

夜を歩くHO

G G^b G G^b G G^b G

てくてくと 歩いてく 光のない道を

G G^b G G^b G G^b G

ちらりほら ちら法螺 蛍が 舞っていた

Am Bm C D7

懐破れて 落とし物 手探り しゃがんだら

Em Bm Am E^b7 D7 G

ヘッドライトが 飛んできて 危うく轢かれそうになった

どくどくと ドクダミ 不整脈も笑う

ふわりふわ 不和不和 風呂場で はしゃぐ声

点滅苦情の 外灯と 幸せの 灯火

口ゆえ蛇に 吞まれるか どちらを選ぶか 茹で蛙

ちくりちく 痴苦痴苦 忠告もきかずに

そろりそろ そろそろ そちらに 参りましょ

冥銭六文 にぎりしめ 三途の河原まで

地獄の沙汰も 金次第 色が足らぬと帰された

HO HO HO HO・・・

HO HO HO HO・・・

歩 歩 歩 歩・・・

捕 捕 捕 捕・・・

火 火 火 火・・・

喃 喃 喃 喃・・・

蒲 蒲 蒲 蒲・・・

ミソソラミ ミソラソ ミソソラソミレド

イメージ 蒲 因幡の白兔「古事記」

野の花

C F C C F C

これでいいのかな それでいいんです

C F C G Fm C

それじゃいけません これしかないのです

Bm7-5 E Am Am/G Am/F# Am/F

答えは きっと ひとつじゃないはず

Bm7-5 E7 F C Bm7-5 E7 F C

だけど 今は 浮かばない 少し 時間をくれますか

何が欲しいのかな 欲しいものはありません

どれが欲しいのかな ここにはありません

選ぶことが 切り捨てることに

ならないこと 探してる できないこと 求めてる

傷つきたくはないし 傷つketakもない

傷つけあいには逃げたいし 傷の舐めあいには情けないし

野に咲く そう あの花のように

自分の命 燃やせれば たとえ 他人に踏まれても

イメージ 伊藤左千夫「野菊の墓」

場面 「矢切の渡し」

五文字の呪文

E A E
行きずりと言うほど 軽くもなく
E C B7
運命と言うほど 重くもない
E A E
もしや使い方を 間違うと
E C B7 E
人生さえも 狂う危ない呪文
G D C G
魔法の呪文 五文字だけの呪文
G D C C7 E
自問 呪文 胸の前で 十字切ってみましょうか？

E A E
一瞬と言うほど 刹那でもなく
E C B7
永遠と言うほど 純粹でもない
E A E
ここそのチャンスを 見逃すと
E C B7 E
赤い糸さえ 黒になる誤解の呪文
G D C G
魔法の呪文 ほどけない呪文
G D C C7 E
自爆 呪文 両手を合わせ 数珠を繰ってみましょうか？

G D C G
魔法の呪文 言葉じゃない呪文
G D C C7 E
自問 呪文 胸の前で 十字切ってみましょうか？

イメージ イクタマヨリヒメと大物主（オオモノヌシ）大神 「古事記」

センチメンタルじゃあにい西新

C Am C G
遠い記憶の街に 足を運んでみました
C Am G C
約束した訳もなく ふらり訪ねてみました
C Am C G
通いなれたこの道 角を曲がれば行きつけ
C Am G C
あの日と同じグラスと 笑顔並んでいました
F Em Am
ひとりふたり 飲み仲間 消えたとか
F Em Am
きっと今夜も あっち空で 酔っぱらってる
 Dm G C
センチメンタルじゃね

酒屋 薬屋 八百屋 露天 リヤカー おばさん
しゃれた店も できたけど 昔ながらの路地裏

きび団子 カキ氷 冷やし中華は ピカイチ
酒の肴は 毒舌 95歳のてんぷら

もつれた糸 そのままにして 離れたけど
切って ほどいて 結べば それでいいんだと
センチメンタルじゃね

店の数だけ 家族がいて
家族の数だけ ドラマがある
センチメンタルじゃね

こそあと

C G C F G C
この道を歩いたら この川を渡ったら
FG C Am DmF C
この山を越えたところには 何が待ってるだろう

C G C F G C
その風のを聞き その雲に手を伸ばし
F G C Am DmF C
その雨に打たれたならば 何がわかるのだろう

Dm Am F G
少しだけ もう 少しだけ 痛み癒せたなら
Dm Am DmG C
いつまでも そう いつまでも そばにいられるかな

C G C F G C
あの夢を追いかけて あの嘘を抱きしめて
F G C Am DmF C
あの時を思い出せたなら 涙 わけてほしい

C G C F G C
どの花を描いたら どの空を見上げたら
F G C Am DmF C
どの唄を歌ったならば 心安らぐだろう

Dm Am F G
少しだけ もう 少しだけ 痛み癒せたなら
Dm Am DmG C
いつまでも そう いつまでも そばにいられるかな

Dm Am DmG C
いつまでも そう いつまでも そばにいられるはず

ほたる

詩：甲斐哲義

ほたる ほたる なぜひかる
ほたる ほたる あいがほしいから
ほたる ほたる あいがほしいから

ほたる ほたる なぜみなでひかる
ほたる ほたる ひとりじゃさびしいから
ほたる ほたる ひとりじゃさびしいから

ほたる ほたる なぜひかる
ほたる ほたる ふれあいがほしいから
ほたる ほたる ふれあいがほしいから

あいたい

C G Am Em Dm Am F G
もう一度 あえるなら 何から 話そうか
C G Am Em Dm Am F C
不器用な 人だけど 微笑んで くれるかな

C G Am Em Dm Am F G
流れる 時間の 届かない ところで
C G Am Em Dm Am F C
記憶は たしかに あのとき そのまま

Bm E Am Am/G#/G/F#
なにげない言葉の ひとつふたつ
F Fm Dm7 Dm/G
近すぎて いつも 撥ね返していた
C Gm Cm Gm C G
逢いたいな 遇いたいな 会いたい

間奏

C G Am Em Dm Am F G
季節も いくつか 駆け足で 過ぎてゆき
C G Am Em Dm Am F C
気がつけば いつしか 臆病にも なりました

Bm E Am Am/G#/G/F#
さりげない仕草の 欠片集め
F Fm Dm7 Dm/G
心の支えに 今さら気づいた

C Gm Cm Gm C G
逢いたいな 遇いたいな 会いたい

糸

AmG F Am C F G E7

煙の行き先を 虚ろに追いながら

Am C DmAm G F Am

タバの言い訳を ひとつふたつ 揉み消して

Am G F Am C F G E7

「けどね」と呟いて 「そうね」がききたくて

AmCDmAm G F Am

沈黙が怖すぎて ひとつふたつ 口火切って

C G F C F G C E7

見えない 糸を 手繰り寄せて 解いてみてら

C G F C F G Am

見えない 心 探りきれず いつの間にか 袋小路

Am G F Am C F G E7

ガラス窓の雨だれが 重さに耐えかねて

AmCDmAm G F Am

都合いい奴と ひとつふたつ 流れてく

Am G F Am C F G E7

「たかが」と嘯いて 「されど」と寄せつけず

AmC Dm Am G F Am

弱みも見せきれず またひとり山の大將

C G F C F G C E7

絡んだ 糸を 気づかれぬよう 解こうとして

C G F C F G Am

絡んだ 心 掟破り いつの間にか 袋小路

C G F C F G C E7

見えない 糸を 手繰り寄せて 解いてみれば

C G F C

見えない 心 探りきれず

F G Am

いつの間にか 袋小路

5W1H

C G F C G F
誰が どこで 何を・・・ どうして どんな風に・・・

C G F C G F
誰が どこで 何を・・・ どうして どんな風に・・・

C G
・・・いつ？

C Em Am Em Dm Am D7 G
愚痴は言いまい そう 嘆くまい あなた口癖 ふと 呟いてみる

C Em Am Em Dm Am G Fm C
それでも少し 臆病 意地っ張り 一匹狼 気取ったりもする

F G F G C F G Am G
そんなに 強くもなれないんだけど その気になってみるんだ？

生きてゆくのに 理由がいるのか 理由があるから 生きているのか

夢追い人か 無いものねだりか 身の程知らず 誰かが笑う

知らない 振りもできそうなんだけど その気になってみるんだ？

誰が どこで 何を・・・ どうして どんな風に・・・

誰が どこで 何を・・・ どうして どんな風に・・・

誰が どこで 何を・・・ どうして どんな風に・・・

誰が どこで 何を・・・ どうして どんな風に・・・

・・・いつ？

ドレミ ソミレ ミレド
ドレミ ソミレ ミレド ミレド

シャボン玉 ふたつ Capo2 KeyD

C Am Dm G Dm Em D7 G
打ち上げ花火に はじけたあの恋も ギターケースに 滲んだ汗も
C Am Dm Am Dm Em G C
消えたはずだと 忘れたふりをして 背負った荷物と 生きて来たんだね
E Am Em Am Em
どこから来たのか シャボン玉ふたつ
Dm C Ab G C Dm C Ab G C
歳をとるのも まんざらじゃないね 歳をとるのも まんざらじゃないね

C Am Dm G Dm Em D7 G
夜市の屋台で 汚したTシャツ 裾上げ頼んだ ベルボトム
C Am Dm Am Dm Em G C
色褪せた写真と 記憶の奥底で 素敵な誤解と 笑ってくれますか
E Am Em Am Em
どこまでゆくのか シャボン玉ふたつ
Dm C Ab G C Dm C Ab G C
歳をとるのも まんざらじゃないね 歳をとるのも まんざらじゃないね

C Am Dm G Dm Em D7 G
遠くで聴こえる 踏切の音に あの日の景色を 重ねてみたら
C Am Dm Am Dm Em G C
懐かしい唄を 口ずさんでいたよ 涙の数だけ 綺麗になったね
E Am Em Am Em
風風吹くな シャボン玉ふたつ
Dm C Ab G C Dm C Ab G C
歳をとるのも まんざらじゃないね 歳をとるのも まんざらじゃないね

熱帯夜

D G D Em G A7 D G D Em A7 D
どうしてるのかな 眠ってるのかな 寝苦しい夜さ ばててはいないかな

D G D Em G A7 D G D Em A7 D
エアコン苦手な 冷え性なのかな 食欲もないね ストレスなのかな
G F#7 Bm G A7 D

我が家の犬も最近外では 寝てくれないんです

G F#7 Bm Em Gm D
僕と君との温度と一緒に なれたらそれが 望みだけれど

D G D Em G A7 D G D Em A7 D
大変だよな 毎日の仕事 いいことばかりが あるはずじゃないしね

D G D Em G A7 D G D Em A7 D
それでも笑顔は 宝物だね 苦手なあいつも 救われるはずさ
G F#7 Bm G A7 D

我が家の猫も最近時々 笑ってるんです

G F#7 Bm Em Gm D
僕と君との笑顔と一緒に なれたらそれが 望みだけれど

～間奏～Harp

D G D Em G A7 D G D Em A7 D
(ブレイク後 即サビ)

G F#7 Bm G A7 D
僕と君との温度と一緒に なれたらいいのに

G F#7 Bm Em Gm D
僕と君との笑顔と一緒に なれたらそれが 望みだけれど

G F#7 Bm G A7 D
僕と君との温度と一緒に なれたらいいのに

G F#7 Bm Em Gm D
僕と君との笑顔と一緒に なれたらそれが 望みだけれど

ちゃんす Capo3 KeyB#m HarpBb

Am C Am C
いつもの悪い癖 欲張り過ぎるから
Dm Am E7 Am
両手を塞いで チャンスを掴めない
Am C Am C
すべてを投げ出し 身構えていた夜に
Dm Am E7 Am
どこかで聞こえる まちぼうけの唄
C Am C Am
尿酸値が下がりゃ 血糖値が上がり
Dm Am Fm C Am
やけ酒飲めば ガンマー最大値 あ〜あ

Am C Am C
それでも少しは 臆病にもなったけど
Dm Am E7 Am
チャンスを逃すな 行くんだもう一度
Am C Am C
当たって砕けろ でも やっぱり怖いな
Dm Am E7 Am
眺めていましょか? それでも幸せ(笑)
C Am C Am
テンションが上がりゃ 不整脈も踊る
Dm Am Fm C Am
心を沈めりゃ 無呼吸症候群 あ〜あ

らら乱・・・乱らら・・・らら乱らら らららら乱
ららら乱・・・乱らら・・・乱乱ららら乱

蒼々花 YUKINO Capo4 KeyC#m

Am C Dm E7 Am C E+ E7

ベルを鳴らした指先に 熱き想いのあふれでる

Am C F E7 F C E7 Am G

あの日の君がいたような 信じていたい 夢見草 (そう)

C Dm C F E+ E7

思い出させてかきたてる 悪い花だよ 古都 (みやこ) 花

Am C Dm F E7 Am

焦がれて泣いてる 山野草 (さんやそう)

Am C Dm E7 Am C E+ E7

忘れな草を髪にさし 歩くこの道 どこへやら

Am C F E7 F C E7 Am G

夢が明りの残り道 ふたりで歩く みちゆき草 (そう)

C Dm C F E+ E7

季節はずれの花一枝 (はなひとえ) 咲いてせつなく いとおしく

AmC Dm F E7 Am

摘んでたもとに しのぶ草

Am C Dm E7 Am C E+ E7

ついて来ぬかとおつむじ風 寄り添いながらコスモスが

Am C F E7 F C E7 Am G

思い出だけと首を振る 雨に濡れてる 根無し草

C Dm C F E+ E7

一緒に歩く はずれ道 躓きの石 避けながら

Am C Dm F E7 Am

つないでいたい 恋華 (れんげ) 草

Am C Dm F E7 Am

つないでいたい 恋華 (れんげ) 草

まいったな (ましえり) CAPO3 KeyB♭

G Em Am D7 G Em Am D G
さりげない そう 暮らしの中で そう 大事な 忘れ物してたよ
G Em Am D7 G Em Am D G
照れくさいけど 言葉にしておこう そうあの えっと いつもありがとう
G Em Am D7 G Em Am D G
どしたの なに 何かあったの そう 突然 優しくなるときは
G Em Am D7 G Em Am D G
あやしい ん? 目が泳いでる そう あなたが 嘘をつくときわね

そう言えば 昨日 洗濯してるときにね
カッターシャツに 赤い染みがついてたんよね なんやろか>なんやろね
それがね 袖口のところ なんやけどね 身におぼえある?
>身におぼえて?・・・ああ それなら チョークか 給食のケチャップ かな
ふ〜ん そう

C G C G
いやいや そんな どしたらいいんだ
C G Em D G
言い訳じゃないんだ けど しどろもどろ

G Em Am D7 G Em Am D G
わが身の そう 不徳はあるけど そう たまには かっこよくさせてよ
G Em Am D7 G Em Am D G
照れくさいけど もう一度言うよ そうあの えっと いつもありがとう
G Em Am D7 G Em Am D G
ますます 変 気になりだしたわ そう あなたが しゃべりすぎるときは
G Em Am D7 G Em Am D G
今夜は まだ 飲んでなさそうだし そう ああ お金はないからね

そう言えば あなたの部屋を掃除しているときに気になったことがあるんだよね
>えっ?なに?なによ?
もしかして?ギターの数増えた?
>いや 増えてない 増えてない 新しいギターは・・・買ってない
ふ〜ん そう

C G C G
はたまた これは どうしたもんだ
C G Em D G
ロマンチックに ちょいと ならないもんかね

暑い夏の日の夢 Capo2 KeyC

C F C G

それは夢の中の出来事でした

C F C G C

暑い夏の夕暮れ ひとコマでした

E Am D7 G

おふくろに抱かれて ぶらんこ揺れた

E Am D7 G A♭ G A♭G

それでもなぜだか 寂しくて 揺ら 揺ら

C F C G C

セミの声が 突然 消えたのでした

すべり台の影が長く伸びてた

誰もいない団地の公園でした

どこにも行かないと笑うのですが

それでもなぜだか 怖かった ふわふわ

青い空が 突然 暗くなりました

そしてそれから どうしたか

夢の中ことで 思い出せない うとうと

とにかく 悲しい 夢なのでした

シン・ウイルス Capo5 KeyC

G D C G C G A7 D7

眠れない もやもや 食事も喉を通らない

G D C G C G D G D

昼間も ふわふわ 仕事も手につかない

G D C G C G A7 D7

身体の 奥底 暴れるこのシン・ウイルス

G D C G C G D G

なんだろ 久々 懐かしい痛みだね

E Am7 D7 E+ E Am7 B7 Em E

年甲斐もなく ドキドキもする 微熱まで ああ 出てくる始末

Am7 D7 E+ E Am7 Cm G D

どうすればいい ワクチンはあるのか そもそも こいつは何なんだ？

G D C G C G A7 D7

お酒を 飲んでも ちっとも気分晴れない

G D C G C G D G D

お知らせの 合図に ワクワクなんてする

G D C G C G A7 D7

瞼を 閉じれば 浮かんでそして消えてく

G D C G C G D G

ふとんを かぶれば 寝汗で枕ぐしょぐしょ

E Am7 D7 E+ E Am7 B7 Em E

いつからなんだろ 遠い昔の記憶 長すぎる ああ 潜伏期間

Am7 D7 E+ E Am7 Cm G

どうすればいい 効果あるのか座薬 そもそも こいつは何なんだ？

G D C G C G A7 D7

あいうえおかきく けこさしす たちつてとととと なにぬねの

G D C G C G D G

はひふへほまみむ めもやゆよ らりるれろろろ わぁ～ん

ひまわり Capo4 KeyG#m

Em G Am Em
ひまわり 青空に向かい ひまわり 涙こぼれぬよう

Em G Am Em
ひまわり 潮風に吹かれ ひまわり 優しくなっておくれ

Bm Em Bm Em
流れる雲に 伝えておくれ

Am Bm Am D7 Em
生き急ぐことはない この時を 今 大事にしたい

Em G Am Em
ひまわり この大地をつかみ ひまわり その根を伸ばしておくれ

Em G Am Em
ひまわり 太陽のように ひまわり 微笑んでおくれ

Bm Em Bm Em
幸せ不幸せ 最後は同じ数

Am Bm Am D7 Em
この身に降る すべてのこと 無駄なんて きっと ないはずだから

Em G Am Em
ひまわり 灼熱の夢と ひまわり 夕焼けの赤と

Em G Am Em
ひまわり 青い月の夜も ひまわり 雨に濡れる朝も

Em G Am Em
ひまわり 心 砕けても ひまわり 天にも舞うとしても

Em G Am Em
ひまわり 憶えていておくれ ひまわり いつもそばに居るよ

Em Em Em
ひまわり ひまわり ひまわり

それから Capo2 KeyD

C Dm G7 C
月がきれいですねと あなたが 言うから
C Dm G7 C
どんな返事 すればいい 戸惑いは あるけど
F Fmaj7 F#dim C
青い月なら 遠回りして 帰ろう
Dm G7 C
おぼろ月なら 霧に隠れて 行きましょう

C Dm G7 C
星がきれいですねと あなたが 言うから
C Dm G7 C
どんな返事 すればいい ためらいも あるけど
F Fmaj7 F#dim C
カシオペアなら そうね 気づいていたわ
Dm G7 C
天の川なら 流れる舟に 乗りましょう

C Dm G7 C
海がきれいですねと あなたが 言うから
C Dm G7 C
こんな返事 どうかしら さぐった 指を絡めて
F Fmaj7 F#dim C
夏の海なら 少し泳いで みましょう
Dm G7 C
冬の海なら 身体 温めてほしい

そそみ みみれど れみれ れみれ どれみ
そそみ みみれど れみれ れみれ どれど
どどみみそそら らどら どらそみ そらそ
みみそそみみれ れみれ みれどら どれど

金縛り

Am G F Esus4 E7
真夜中に 目が覚めて 眠れない 外は土砂降り

Am G F Esus4 E7
泥沼の 夢を見た 動けない 後にも先にも

Am G F Esus4 E7
時計の音だけ 聞こえるけれど 時計の針は 進まない

Am G F Esus4 E7
頭の後ろで ささやく声は 天使か悪魔か どうでもいい

Dm Dm/F C
この胸に 刺さった矢を 君の手で 抜いてほしい

Dm Dm/F Esus4 E7 Am
遠回り してきただけ 遅刻は 気にならない から

Am G F Esus4 E7
テレビを つけてみた ボリューム やたら大きすぎ

Am G F Esus4 E7
字幕が 流れてる 今夜は 台風警報

Am G F Esus4 E7
頭痛がするのは 誰のせいかな それとも 低気圧のせい

Am G F Esus4 E7
右手の震えは お酒のせいかな 君と握手をした日から

Dm Dm/F C
この胸に 刺さった矢を 君の手で 抜いてほしい

Dm Dm/F Esus4 E7 Am
言い訳は 必要ない 今から始まれば いい

ここで ~間奏~ Harp

Am G F Esus4 E7 Am G F Esus4 E7
Dm Dm/F C

この胸に 刺さった矢を 君の手で 抜いてほしい

Dm Dm/F Esus4
遠回り してきただけ 遅刻は 気にならない

Dm Dm/F C
この胸に 刺さった矢を 君の手で 抜いてほしい

Dm Dm/F Esus4 E7 Am
言い訳は 必要ない 今から始まれば いい

闇無

G D7 G
天気良ければ ドライブなんて どうでしょ
G D7 G
雨降り模様なら 相合傘も いいでしょ
D7 G
素敵な夢なら たくさん描こう GoodDays
C7 G
不安を数えて 踏み出せないの BadDays
B7 Em Am A7 D7 D#7 D7
海岸線を南に巡って 海鮮丼でも 食べよう どういいだろ？

G D7 G
気分が乗ったら カラオケなんて どうでしょ
G D7 G
会話がはずめば 公園も 指定席
D7 G
くしゃくしゃ笑顔で たくさん笑おう GoodDays
C7 G
気がかり数えて 遠慮するの BadDays
B7 Em
おなかが減っては 戦はできぬ
Am A7 D7 D#7 D7
たまには 贅沢 焼肉 そして ビビンバ

D7 G
その気になれば 何でもできる GoodDays
C7 G
できない理由は 山ほどあるよ BadDays
B7 Em
防波堤を歩こう はしゃぐと落ちるよ
Am A7 D7 D#7 D7
この手は離すな 泳げないだから 頼むよ

贈り物 ～Happy birthday～

D A7 G D G D A7 D

言葉をさがしてる この気持ちを伝えたい

D A7 G D G D A7 D

飾らない文字だけで 簡単なフレーズで

Em F#m G A7

空の青さが 海にとけて

Em F#m G A7

ただ眺めていた 君の後姿

Bm F#m Bm A7

消えないようにと もう どこにも行かぬよう

Gm D

ただ 祈ってた

D A7 G D G D A7 D

かけがえのないあなたに どこにもない贈り物

D A7 G D G D A7 D

かけがえのないあなたに どこにもない贈り物

ずっと Capo2 KeyD

F G E Am
いつものように 君がそばにいて

F G C
いつものように 笑ってて

F G E Am
ただそれだけで 倅せなんだ

F G C
嘘じゃない ほんとだよ

Dm Em
もうこれ 以上 欲張るのは よそう

Dm Em
それでも君が望むならそこまで 行こう

Am Em G F Fm C
手をつなごう ギュッともいいけど ずっとね

F G E Am
君の寝顔を 今夜も覗いて

F G C
少しため息 ついて

F G E Am
明日も同じ 日でありますようにと

F G C
静かに灯りを 消して

Dm Em
明けない夜などないと 僕も言ったけど

Dm Em
突然君がいなくなるような 気がして

Am Em G F Fm C
そっと くちづける 君の眠りを 邪魔せぬよう

Am E G F Fm C
手をつなごう ギュッともいいけど ずっとね

ゆっくりタバコを吸おう Capo2 KeyD

C Dm Em Am Em G

ゆっくり タバコを吸おう 何を 急いでいるんだ

C Dm Em Dm G C

できれば 座って 吸おう 敷地外 だけどね

F Fm

僕は 罪ですか 悪いことしてますか

C A7

でも タバコをやめれば

D7 G C

君と ごちそう食べれる

C Dm Em Am Em G

ゆっくり タバコを吸おう 煙を 眺めながら

C Dm Em Dm G C

気がねをしないで 吸おう 密室 だけどね

F Fm

値上げ ありますか 税金も上げますか

C A7

でも タバコをやめれば

D7 G C

君と 旅行も できるね

ど どのれどれ みそ ららそそ みれどれ みれ

ど どのれどれ みそ れれみ そみ れみど

F Fm

僕は 罪ですか 悪いことしてますか

C A7

でも タバコをやめれば

D7 G C

ギター もう一本 買えるかも(笑)

断捨離

G D C G

君の好きなもの 全部知りたい

G D C G

君の好きなこと 全部やりたい

G D C G

抱え過ぎた 無駄な荷物

G D C G

断捨離するなら 今がチャンス

F G F G

ほらもう 夜明けだよ もう少し 眠ってるかい

Em Bm Am C G

そうだね 今日は おやすみ だったね

G D C G

君が望む 男になりたい

G D C G

君が欲しい 男になりたい

G D C G

未来が少し 不安になれば

G D C G

これから毎日 記念日作ろう

F G F G

眩しい 朝日だよ どこかへ 出かけてみよう

Em Bm Am C G

それとも やっぱり まどろんで いるかい

G D C G

君の好きなもの 全部知りたい

G D C G

君の好きなこと 全部やりたい

G D C G

君が望む 男になりたい

G D C G

君が欲しい 男になりたい

ライブでは唄わないだろう歌

C F C Em Dm G

君が好きだよ 君が好きだよ

C F C Em G C

君が好きだよ 大好きなんだよ

Dm Am Em G

君が好きだよ 君が好きだよ

Dm Am Em G C

君が好きだよ 理由も探したよ

C F C Em Dm G

君の瞳が好き 君の眉が好き

C F C Em G C

君の口が好き 君の笑顔が好き

Dm Am Em G

君の指が好き 君の髪が好き

Dm Am Em G C

君の肩が好き 書ききれないんだよ

C F C Em Dm G

君の声が好き 君の鼻も好き

C F C Em G C

こめかみが好き くるぶしも好きだよ

Dm Am Em G

肩甲骨も好き ひょうきんなところも

Dm Am Em G C

甘えるところも これじゃきりがいい

C F C Em Dm G

君が好きだよ 君が好きだよ

C F C Em G C

君が好きだよ 大好きなんだよ

Dm Am Em G

君が好きだよ 君が好きだよ

Dm Am Em G C

君が好きだよ ありのままが好き

あのね?ましえり

G D C G Em Bm Am D7
今朝も黙ってるんだね やっぱり怒ってるのかな
G D C G Em D7 C G
あんなに言わなきゃよかった ビールを切らしたくらいで
G D C G Em Bm Am D7
もともと無口なあなたも やっぱり怒ってるでしょ
G D C G Em D7 C G
あんなに言わなきゃよかった ぶきんで台ぶきしたって
Em Bm Em Bm
おしゃべり好き君なのに 視線もまったく合わない
C G D7 C G
先に謝りたいのに なかなか 声が出ないな

G D C G Em Bm Am D7
あれこれあなたに頼んで そのうえ注文つけたり
G D C G Em D7 C G
一緒に何かやりたいの やっぱりあなた好きだから
G D C G Em Bm Am D7
一所懸命してくれて 僕は甘えてるんだね
G D C G Em D7 C G
君のおかげでなんとか ここまで暮らしてきたのに
Em Bm Em Bm
いつも見守ってくれて それも忘れて ついつい
C G D7 C G
先に謝らなくちゃね うまく言葉が出ないわ

・・・そっと客席の奥に退場・・・
・・・えっ? 何? ちょっと・・・出ていくの?・・・(ほとんど独り言)
～間奏～
・・・客席から戻る・・・
・・・あれ?帰ってきた・・・

不思議

Em D Em G Em D Em

どこまでいきますか? 【あなた次第(笑)】

Em D Em G Em D Em

食事はどうですか? 【美味しいものなら(笑)】

Em D Em G Em D Em

【どこに連れてくの?】 どこでもいいんだ(笑)

Em D Em G Em D Em

【はっきりしないわね?】 どうすればいい(笑)

D G D G
あれから何年たったんだらうね 【好みじゃないけど 記憶はあるわよ】

Em G Em Am D G C D G B7 Em
告白もできず フェードアウトで 《不思議 不思議 ほんとに 不思議》

Em D Em G Em D Em

【憶えていてほしいわ】 いったいなんだろう?

Em D Em G Em D Em

【調子に乗るわよ(笑)】 望むところさ

Em D Em G Em D Em

僕は欲張りだよ 【それはたしかね(笑)】

Em D Em G Em D Em

やり直しはきくかな? 【まだ 始まってない(笑)】

D G D G
【私も少しは大人になったわ】 それでもいいけど 少女のままだよ

Em G Em Am D G C D G B7 Em
【くどき文句も覚えたみたいね】 不思議 不思議 ほんとに 不思議

D G D G
時計をとめてと 誰かが歌った 【そんなに時間は経ってはいわよ】

Em G Em Am D G C D G B7 Em
【あなたの温度を感じてほしいの】 不思議 不思議 ほんとに 不思議

D G D G
【ここまで来たなら 覚悟はあるのね?】 お安い御用さ 待ってたんだから

Em G Em Am D G C D G B7 Em
冷たい身体 温めていたい 不思議 不思議 ほんとに 不思議

C D G B7 Em
不思議 不思議 ほんとに 不思議

虹

Am G F E7 Am G F E7

あなたとの思い出 コーヒーカップに溶かして

Am G F E7 F G Am

生まれ変われるなら もう一度 巡り会いたい

A F#mC#mF#m Bm E7

悲しみは 雪のように 小さくなるのに

A F#mC#mF#m Bm E7 A

何気ない 仕草ばかり 浮かんでくるのです

Am G F E7 Am G F E7

あなたが好きな唄 ラジオで流れてます

Am G F E7 F G Am

不愛想な笑顔だとか 笑い声 聞こえました

A F#mC#mF#m Bm E7

今ならば 言えるような そんな気がする

A F#mC#mF#m Bm E7 A

あたりまえの暮らしの中で あなたに ありがとう

A F#mC#mF#m Bm E7

久しぶりの虹が空に ふたつ架かりました

A F#mC#mF#m Bm E7 A

願いごとすることさえも 忘れていました

ジョハリの窓

C Am Dm Em G
わたしが知ってるわたし あなたも知ってるわたし
C Am Dm G C
わたしは知ってるわたし あなたは知らないわたし
C Am Dm Em G
わたしが知らないわたし あなたは知ってるわたし
C Am Dm G C
わたしも知らないわたし あなたも知らないわたし
Am Em Am Dm G
いいとこみせよう たまには ずっこけよう
Am Em Am Dm G C
心配かけよう それでも 心を配ろう

あなたが知ってるあなた わたしも知ってるあなた

あなたは知ってるあなた わたしは知らないあなた

あなたが知らないあなた わたしは知ってるあなた

あなたも知らないあなた わたしも知らないあなた

笑っていよう 時々 涙も流そう

弱音も吐こう それでも いいとこさがそう

たいしたことじゃないんだ

C Am F G C
どんな想い数えて ここまで来たんだろう

C Am F G C
失えるものすべて 切り捨てたんだろう

Em Am F G C
手探りの望みが 少しでもあるなら

Em Am F G
残された時間に 賭けてみるんだ

C Am
たいしたことじゃないんだ

F G C
素直に生きてみるんだ

言葉はいつも少し 言い訳するから
躓いた痛みも 受けとめてみたい
笑顔こぼれれば 嬉しいし
魚の瞳じゃ 少し辛いね
たいしたことじゃないんだ
素直に生きてみるんだ

謝りすぎる僕は 同じ間違いするから
通りすぎる前に ありがとうと言おう
後ろ向きのままじゃ 前は見えないし
下を向いたままじゃ 歩きにくいよね
たいしたことじゃないんだ
素直に生きてみるんだ
たいしたことじゃないんだ
素直に生きてみるんだ

縁側

C Am F G
二月と 言うのに こんなに 穏やかで 暖かい
C Am F G
日差しが あふれる 縁側に あなたと笑う
Am Em G C
時にはケンカもしたよね いつしか手をつなぎ
Am Em Dm G C
そんな日がずっと 続くと 信じてた わたし
F Am G E7 Am
こんなに早く別れが 来るとは 思わなかった
F C G C
いったい誰が このシナリオを 書いたのでしょうか

季節を重ねて 新しい 自分を みつけた

別れは 出会いの 始まり とつぶやく わたしがいたの

それは哀しいことかな? それとも 喜んでいいのかな?

ここから少し 歩き出したの 流れる景色を 追いかけて

あなたと過ごした 思い出は 心の奥で 鮮やかに

私は生きる 思い出と 変わっていくものを 抱きしめて

こんなに早く別れが 来るとは 思わなかった

いったい誰が このシナリオを 書いたのでしょうか

あなたと過ごした 思い出は 心の奥で 鮮やかに

私は生きる 思い出と 変わっていくものを 抱きしめて

幸せを呼ぶ言葉

C Am Em Am

おはよう いい天気だね

Dm Am D7 G

お目覚めいかが はい 爽やかですよ

C Am Em Am

戴きますね うん 美味しいね

Dm Am G C

じゃ 行ってきますね はい 気をつけて

E Am

無理せぬ程度 がんばりましょう

Dm G

素敵な笑顔 今日もふりまいて

AmEm Dm Am

有難い 感謝だね

Dm Am Ab C

出逢えて そう よかったね

C Am Em Am

元気かな はい 心地よい風

Dm Am D7 G

良いことあるね うん その通り

C Am Em Am

たいしたもんだ そう 嬉しいね

Dm Am G C

じゃ もうすぐ帰る はい お疲れさま

E Am

調子に乗れば それもいいだろ

Dm G

笑いは君を 元気にするね

AmEm Dm Am

有難い 感謝だね

Dm Am Ab C

出逢えて そう よかったね

きっかけの魔法

C G F C
好きな映画 好きな唄 そう 行きたいところ

C G F C
好きなタイプ 好きな花 そう 何が食べたい

G F
長い時を超えて 君のことを知ろう

C G F C G F
幸せを運ぶ きっかけの魔法

C G F G F C
こうして居ること ほんと ほんと ほんと 奇跡だね

何を食べるかと言うことは そう 大切だけれど
誰と食べるかと言うことも そう 大事なことだね

巡る季節数え 同じ景色過ごそう

幸せを運ぶ きっかけの魔法

こうして居ること ほんと ほんと ほんと 感謝だね

ありがとう いつも 出逢えたこと ほんと

幸せを運ぶ きっかけの魔法

幸せを運ぶ きっかけの魔法

もっと もっと もっと 近くまで

卵焼きとおにぎり

C G F C C G F C
初っ端からトラブル 落ち込んでいたんだ
C G F C C G F C
やることなすことすべてが 裏目ばかりころんで
C G F C C G F C
逃げ出したかったんだ この場所から今すぐ
C G F C C G F C
そんな時 気づいたんだ となりで微笑むあなたに
G Am
ずっとここにいたよと 差し出されたその手に
G F Esus4 E7
思わず苦笑い 卵焼き 好きよね
G Am G Am F G Am
そう 有無も言えず 頼張ったけれど
Am G Am F G Am
胸に詰まって 涙が出たよ

すべてを背負いこんで 空回りしてたな
まわりが見えなくて 自分もいなくて

いつも棚上げで 誰かのせいにしてたな
そんな時 気づいたんだ 安心できる場所をね

おにぎり握ったよ 梅に おかかに 磯じまん
どれがどれやら わからなく なったけど

ロシアルーレット さながらだけれど
命まではね 取られないわと 笑う

白を選ぶの？ それじゃなければ黒なの？
定まらなければ グレーもいいと 思うの

倖せはきっと 掴むものじゃないわ
気づいてほしいの 今が倖せ

凶星

AmGAm Dm G C E7
車線変更 気をつけましょうね
Am G Am Dm E7 Am
前向きなのはね 悪くはないけど
C C+ Dm C C+ Dm
まわりを ちゃんと そう 確認しましょう
Am C Dm G E7 Am
見えてるつもりで 見えてないかも

脇が甘いよ 正直すぎるね
フォームを 気にして 本末転倒
大事な 時に そう 焦点ずれてる
だろうじゃなくて かもしれないのよ

しっかり 噛まなきゃ 飲み込む前に
素材を味合う 余裕も大事よ
あせらず 急がず 今 この時に集中
消化不良は 心にも毒よ

ら そ ぷあ み れ ぷあ ら
そ ぷあ そ ら
ら そ ぷあ み れ ぷあ ら
そ ぷあ み れ

あの子の赤い風船

Am Dm G C E7

ビルの谷間に青い空 赤い風船が逃げる

Am Dm E7 Am

はしゃぎすぎた夏休み もう帰って来ないのかな

G C G C

行き交う 人波の中 空を見上げていただけ

Dm Am E7 Am

青の信号 気づかずに 謝ってる 僕がいたんだ

Am Dm G C E7

怒られてはいないかな 悲しんではいないかな

Am Dm E7 Am

いつかは消えるとしても もう少し結んでいたかったね

G C G C

綿菓子 握った右手 眩しい 白い雲の下

Dm Am E7 Am

左の指に 残った糸は 何色だったんだろうか

G C G C

彩る 楽しげな日曜 優しい 気分になれたけど

Dm Am

僕だけ時間が 止まってるようで

E7 Am

思い出ばかり 数えている

みれどし らしどら そふあふあ

れどしら そらしそ ふあみみ

みれどし らしどら そふあふあ

みふあみふあ みれどしら

魔法使いになりたい

F G C Dm G C
魔法使いになりたい 魔法使いになりたい
F G C Dm G Am
魔法使いになりたい 魔法使いになりたい

C Em F C
欲は 言いません ああ それが欲だろ
Dm Em G C E7
無理は 言いません 今 言おうとしているね
Am Em Dm C
憎しみ合わない世界を 平和に暮らせる地球を
Dm Em F G Am
それが ダメなら せめて あの子の願いひとつ
F G Am
叶えてあげてください

魔法使いになりたい 魔法使いになりたい
魔法使いになりたい 魔法使いになりたい

僕は そうですね ああ わがままでしょうね
あなた 正義 振り回し 心は ありますか？
きれいごとばかり並べて 理屈はこねるが動かない
いいや どうでも せめて あの子の命ひとつ
救ってあげてください

背骨胸椎第5番

Am C Dm C E7
ほんとの ところは 何なんだろう
Am C G Am
食べすぎ それとも 誰かさんのせい
F
こんがらがって でんぐりがえって
F Em G
悩んでもみたけど
F
算数みたいに 答えは出ないね
F Em G
割り切れないこと ばかり
F Em Dm Am
ああ～ 怒りは ああ～ 理解に
CEmAmGE7Am F E7 Am
悲しみの峠を 越えてみたいよね

どこから 来るんだろう この痛みは
寝不足 それとも 誰かさんのせい
何かにすがって ひっくり返して
並び替えては みたけど
正しさよりも 幸せの方に
反応している 気がする
ああ～ 恐れは ああ～ 勇気に
苦しみの峠を 越えてみたいよね

らどれみ らそみれみ れどれそみ らどれみ らそみれみ れどれそら

こんがらがって でんぐりがえって
悩んでもみたけど
算数みたいに 答えは出ないね
割り切れないこと ばかり
ああ～ 怒りは ああ～ 理解に
悲しみの峠を 越えてみたいよね
峠の向こうには 何があるんだろう

おつかれさま

C Em Am Em
今日も一日 がんばったあなたに
Dm Am D7 G
何か残したくて 言葉を探している
C Em Am Em
巡らせば 巡らすほど ありふれた言葉ばかり
Dm Am D7 G C
届いていますか? 軽すぎませんか?
E Am
あなたの仕草を 思い浮かべては
Dm D7 G Ab G Ab7 G
今夜も 時間が 秋の夜長に過ぎてく

タバコ何本吸えば 好みの言葉が

お酒何杯飲んだら 見つかるんだろう

仕事と時間に 追われているあなたを

解き放してあげれる 呪文は 何ですか?

大型 台風 連休に来るんだ

ソワソワするのは きっと それだけじゃないんだ

あなたのやさしさ 文字の隙間から

笑顔と一緒に 溢れてはこぼれた

みふぁそ らそみれ どしらそみそ みみれ れどらみ れれれれれみれど

あさのるーていん CAPO4

G Bm Em F D
目覚ましが鳴る前に なぜか 目が覚める
G Bm F C G
休みたいとつぶやき 携帯を探りよせ
G Bm Em F D
履歴メールにせかさね ふとんを抜け出す
G Bm F C G
テレビはNHK 便利グッズの紹介
D Em D Em
歯磨きは 右から 舌も磨く 胃が踊る
Am Bm FCG
うがいはイソジン 13秒

G Bm Em F D
ストレッチ 意味もなく 肩 腰 ふくらはぎ
G Bm F C G
靴下は 左から 上着は特に 意識しない
G Bm Em F D
昨日と違う ズボン 昨日と違う ネクタイ
G Bm F C G
鏡は見ない コーディネートは 愛犬
D Em D Em
100均の 竹籠 時計 財布 そして鍵
Am Bm F C G
出すもの出したら タバコを一服

D Em
今日の運勢 確認
D Em
テレビ消して カギ閉めて
Am Bm F C G
僕的一天が やっぱり始まる
Am Bm F C G
僕的一天が やっぱり始まる

つうこうど (Am&G) From 初代

遺言でもないけど あなたの夢があるなら
想うがままに 旅すればいい
臆病になる前に 踏み散らかしていいから
言い訳だけを 用意しないで

とにかく先に好きになればいい
ケンカをするのはそれからでもいい

ずっと 空から 見守ってるから
ずっと 空から 見守ってるから

心配はしなくていい 心配りをしなさい
愛嬌だけは 忘れないでね
お酒は強いはずだよ 情には竿刺さない
反面教師よ それもいいかも(笑)

いまさら意見は少し照れるね
それでも命は大事にしてね

ずっと 空から 見守ってるから
ずっと 空から 見守ってるから

案外 こちらも 忙しんだから
伝兵衛さんとね 毎晩飲んでいる

パパに 伝えてね 一線は超えてないと
だから もう少し 長生きしてねと

一部 始終 見えてるんだから
警告 するとき 壁を叩くね(笑)

TAKEさんに よろしく
でも 気をつけてね(笑)

ずっと 空から 見守ってるから
ずっと 空から 見守ってるから

未来イメージ

Dm7 Dm7/G CΔ7

未来イメージ 与えてくれたね

Dm7 Dm7/G CΔ7

未来イメージ 背中を押して

Dm7 G C A7

叶えたいのなら 一歩踏み出すの

Dm7 G C A7

誰にもできない あなたがやるのよ

Dm7 G E Am7

具体的に そう 書き出してみるの

Dm7 G F C

思いつくまま 溢れるほどに

Dm7 Dm7/G CΔ7

未来イメージ どこかじゃなくて

Dm7 Dm7/G CΔ7

未来イメージ ここにあるんだ

Dm7 G C A7

想いがなければ 動くこともない

Dm7 G C A7

できない理由は 必要ないのよ

Dm7 G E Am7

ごまかしはやめて 鮮明にするの

Dm7 G F C

夢とかじゃなく 予定になるまで

青い夜

詞 山村俊明 曲 森山武彦 2018/1/8

G Bm
晴れ渡った空に はためく洗濯物
Am G D G
掃除片付け終わり ついでにクルマも洗う
G Bm
夜の仕事の前に 夕食をこしらえて
Am G D C G C G
自分で自分を褒める 私 働き者だわ
Em D B7 Em
それなのに突然 怒りだすの母さん
Am G D G
難癖ばかりつけて 晴天のへきれき

G Bm
何もできなくてもいい 子どもに戻る母さん
Am G D G
あなたが愛してくれた 娘がここにいます
G Bm
今度私の番だね 記憶薄れる前に
Am G D C G C G
少しでも少しでも 笑顔見つけて生きるね
Em D B7 Em
その日は青い夜で お月さま笑ってた
Am G D G
無理して真似してみたら 涙こぼれて落ちた
Em D B7 Em
その日は青い夜で お月さま笑ってた
Am G D G
無理して真似してみたら 涙こぼれて落ちた

そそら しれみそ みれし そそら しれみそ ふあれし
らしららそら しれし ららし れしらし そらそ

そららん

C Am EmF Em Dm G

君が忘れてった ミトンの手袋 いつ返せる

C Am Em F Em DmGC

メールを待ってるけど 忘れたこと 忘れたかな

Dm Em F Em Dm G

薄化粧の君になのに この香りは なんだろう？

朝晩冷え込むけど 想いはずっと暖かいよ

寂しいなんて 呟いてる 勘違いも 素敵だよ

寒くなれ もっと寒くなれ 指先 冷たくなればいい

FΔ7 CΔ7 FΔ7 CΔ7

三日月がきれい 明日も晴れるね

Dm Em F Em Dm G

思い出してくれるだろうか？ それとも忘れていたいのかな？

君が忘れてった ミトンの手袋 いつ返せる

メールを待ってるけど 忘れたこと 忘れたかな

梅酒

E7

今夜も僕はビール 愛想なしのビール

A7 E7

酔っぱらって 送ってもらうんだ

B7 A7 E7

飲めない君で ほんとによかった

洒落たお店もいいけど 居酒屋メニューもOK!

チジミ 杏仁 石焼ビビンバ

チュチュチュチュチュチュ 注文オーライ

もう少ししたら焼酎 勝手に酔うから焼酎

千鳥足で 肩を借りるんだ

飲めない君で ほんとによかった

G D C G

それじゃあたしも飲もうかな

G D C G

最近憶えた梅酒

Em Bm Em Bm

マスターお願いもいい 氷いっぱい入れて

Cm G

超炭酸でね

いいね いいね でもいいのかな?

だだだ だだだ 大丈夫?

今夜 帰りはどうするの?

それとも帰らないつもりなの?

・・・「タクシーで帰れ」ってか? (苦笑)

とまと CAPO4

G D Em
この空どこまで 続いてんだろう
G D Em
同じ空の下 同じ雲見てる
C G C G
トマトに水を あげていたんだよ
C Bm Am C G
にわか雨は 一瞬にして 僕の望みをかなえた
C G C G
勝てないね 勝ち目はないよ
D F G^b G
だからさ 僕にもできないこともあるんだ

G D Em
時代は僕を 追い越していくね
G D Em
便利便利で ツイテいけなくて
C G C G
タッチパネルは 平たいだけで
C Bm Am C G
やわらかい大事なところは 誤魔化すばかり
C G C G
遠すぎるね 触れたい場所まで
D F G^b G
それでも 僕にもできることもあるはず

ZIPPO CAPO2

G7

サイレンの音が聴こえる 遠い遠いところで

C7

誰かの不幸を気づかぬふりして 今日も生きてる G

G7

チャットに入れば逢えるの? メールは今どこ?

C7

電話は嫌いなはずだし 手紙なんてありえない G

D7

C7

G

D7 C7

G

そうだね 強い女のはずなのに 強い女だったはずなのに

G7

約束はしない約束 するけれど 許すわ

C7

それでも 最後の約束したのは 憶えてるわよね G

G7

今度逢える日はいつかな? 返事はしたわよ

C7

G

その日が過ぎて どうでも もう どうでもいいけど

D7

C7

G

D7 C7

G

そうだね 強い女のはずなのに 強い女だったはずなのに

D7

C7

G

D7 C7

G

そうだね 強い女のはずなのに 強い女だったはずなのに

D7

C7

G

D7 C7

G

そうだね 強い女のはずなのに 強い女だったはずなのに

備忘録

C G F Em F Em Dm G
また新しい気持ち 生まれた気がして 不安になったり 心配したり
C G F Em F Em G C
しゃべり過ぎたり イライラしたり どこかが違う 何かが違う
Dm Em F Em Dm Em G C
空の青さ 雲の白さ なまえも知らない 小さな野の花
Am Em
辛い 苦しい 切ない 怖い 少しドキドキ
Dm Am F C
言葉じゃないもの 伝えてみたい

C G F Em F Em Dm G
寂しさ いつも バネにしなながら すいぶん生きたね 疲れてきたね
C G F Em F C G C
海の深さ 朝日のオレンジ 濡れて気づいた 雨のやさしさ
Dm Em F Em Dm Em G C
潮の匂い 土の香り ナビに頼らず 行きたい場所へ
Am Em
嬉し 楽しい 感じる 愛し やっぱりドキドキ
Dm Am F C
言葉をこえて 伝えてみたい

Am Em
辛い 苦しい 切ない 怖い 少しドキドキ
Dm Am F C
言葉じゃないもの 伝えてみたい
Am Em
嬉し 恥ずかし 感じる 愛し やっぱりドキドキ
Dm Am F C
言葉をこえて 伝えてみたい
Dm Am F C
忘れないうち 残しておこう

シャドウ

AAdimBmE AAdimBmE
休日 割引 適用 除外
AAdimBmE D E A
不要 不急 どこからどこまで
D Dm
とにかく 逢いに行かなくちゃ
E
この目で 確かめるために

感染防止 そう 袋小路
ワクチン接種 カモフラージュ

それでも 逢いに行かなくちゃ
この手で 触れてみたいから

からだと心 そして魂
隠れた無意識 目を覚ます

やっぱり 逢いに行かなくちゃ
心を 剥がしてもらいたい から

忘れたはずのなごり雪

詩：山村俊明

曲：森山武彦

2023/10/1

F Em Dm E☆ E
はらはらと 舞う花びら 記憶が よみがえる
F Em Dm /G C△ C△
首をかしげたまま 消える なごり雪
Dm Em F Em Dm Em Dm E☆ E
薄紅色 面影 春がすみ 川面に 深く深く 滲む(にじむ)ように
F△ C△ Dm E☆ E
ほんの戯れ(たわむれ) 言葉の破片(かけら)
Dm Em Fm C Dm Em Fm C
君の心を 傷つけていた 忘れた はずの なごり雪

Dm Em Fm C C△

F Em Dm E☆ E
ひらひらと 重なり合う 心の 片隅に
F Em Dm /G C△ C△
忘れ物 置き去り とける なごり雪
Dm Em F Em Dm Em Dm E☆ E
目を伏せた しぐさに 気づかずに 空回りしてた 想いのとびら
F△ C△ Dm E☆ E
上手くいくはず 信じてた僕が
Dm Em Fm C Dm Em Fm C
君の心も 知らぬ間に 忘れた はずの なごり雪

Dm Em Fm C F△ G△ F△ G△

F△ C△ Dm E☆ E
春の輝き 無色に 散らし
Dm Em Fm C Dm Em Fm C
まるで あの日の なごり雪 忘れた はずの なごり雪

Dm Em Fm C Dm Em Fm C

たそがれの並木道 詩：YUKINO

G Bm Em Bm Am Em Am D7
次の世界じゃ 貴方と一緒に 改札口で つぶやいた
G Bm Em Bm Am Bm D G
思い出さずに 生きてきたけど 残した文字は 涙で滲む
C Cm Bm E7 Am Em A7 D7
消えた絆に 想いをはせて やっと逢えたわ あの日と同じ
G Em G Em G Em D G
悩んでもみたわ つないだ糸に 今さら切れない 貴方への想い

G Bm Em Bm Am Em Am D7
笑いながらも 淋しいうなじ 話してごらん もういいだろう？
G Bm Em Bm Am Em D G
久留米絣に つつんだ想い とけるものなら 博多の帯を
C Cm Bm E7 Am Em A7 D7
時をもどして 貴女と生きる 歩いてみたい 小春路を
G Em G Em G Em D G
夢に見るんだ あの筑後川 二人歩いた 並木の道を
Em G Em G Em D G
悩んでも見たわ つないだ糸に 今さら切れない 貴方への想い

たそがれの並木道 詩：YUKINO

G Bm Em Bm Am Em Am D7
次の世界じゃ 貴方と一緒に 言って送った エアポート
G Bm Em Bm Am Bm D G
忘れていたでしょう その言葉 私 残した涙の文字で
C Cm Bm E7 Am Em A7 D7
消えた絆に 思いをはせて やっと会えたね あの日の君に
G Em G Em G Em D G
後悔してるの つないだ糸に 今さら切れない 貴方への思い

G Bm Em Bm Am Em Am D7
笑いながらも 淋しいうなじ 話してごらん 昔のことを
G Bm Em Bm Am Em D G
久留米餅に つつんだ思い といてくれるの 博多の帯を
C Cm Bm E7 Am Em A7 D7
夢をつむいで 貴女と一緒に 歩いていこうよ 小春路を
G Em G Em G Em D G
夢に見るのよ 筑後のことは 二人で歩く 並木の道を

G Em G Em G Em D G
後悔してるの つないだ糸に 今さら切れない 貴方への思い

それから Capo4 KeyB

G Am D7 G
月がきれいですねと あなたが 言うから
G Am D7 G
どんな返事 すればいい 戸惑いは あるけど
C G
青い月なら 遠回りして 帰ろう
Am D7 G
おぼろ月なら 霧に隠れて 行きましょう

G Am D7 G
星がきれいですねと あなたが 言うから
G Am D7 G
どんな返事 すればいい ためらいも あるけど
C G
カシオペアなら そうね 気づいていたわ
Am D7 G
天の川なら 流れる舟に 乗りましょう

G Am D7 G
海がきれいですねと あなたが 言うから
G Am D7 G
こんな返事 どうかしら さぐった 指を絡めて
C G
夏の海なら 少し泳いで みましょう
Am D7 G
冬の海なら 身体 温めてほしい

そそみ みみれど れみれ れみれ どれみ
そそみ みみれど れみれ れみれ どれど
どどみみそそら らどら どらそみ そらそ
みみそそみみれ れみれ みれどら どれど

ちゃんす Capo4 KeyG#m

Em G Em G
いつもの悪い癖 欲張り過ぎるから
Am Em B7 Em
両手を塞いで チャンスを掴めない
Em G Em G
すべてを投げ出し 身構えていた夜に
Am Em B7 Em
どこかで聞こえる まちぼうけの唄
G Em G Em
尿酸値が下がりゃ 血糖値が上がり
Am Em Cm G Em
やけ酒飲めば ガンマー最大値 あ〜あ

Em G Em G
それでも少しは 臆病にもなったけど
Am Em B7 Em
チャンスを逃すな 行くんだもう一度
Em G Em G
当たって砕けろ でも やっぱり怖いな
Am Em B7 Em
眺めていましょか? それでも幸せ(笑)
G Em G Em
テンションが上がりゃ 不整脈も踊る
Am Em Cm G Em
心を沈めりゃ いびきをかいてた あ〜あ

らら乱・・・乱らら・・・らら乱らら らららら乱
ららら乱・・・乱らら・・・乱乱ららら乱

あのね? ましえり

G D C G Em Bm Am D7

ちょっと 言っても いいかな 少し 酔った みたいだ

G D C G Em D7 C G

気に入らない ことがある なにやら むかつくんだ

それは こちらの セリフよ 私も 少し 飲ませて
何が 言いたい のかしら それこそ イライラ する

Em Bm Em Bm

少し がまんを するから 君の 言い分を 先に

C G D7 C G

お気に 入りドラマ だけど テレビ 消しても いいから

それが 気に入ら ないのよ はじまりは あなた だわ

私が 何を したのよ 浮気でもした と言うの

そんな ことも あったんだ いったい いつの ことだろ
久しぶり のクラス 会 初めて 参加 したよね

今は 褒めたく ないけど 想像力 豊か だわ
だいたい それより あなた 何が 言いたかった のよ

はぐら かさない でおくれ ますます 怪しく なる

そいつは どのの どいつだ 俺の 知ってる 奴かい

これじゃ 話に ならない 冗談も ほどほどに
もしそう だと してもね ホントのこと 言わ ないわ

えっ? やっぱり 凶星 なんだね 僕は どうしたら いいんだ
たのむよ 行かないで 僕を 捨てたり しないで

だから もう一度 聞いわよ 言いかけたこと 何なの?

気に入らないとか? なんとか むかつく ことが あるとか?

そんなこと どうでもいい こっちの ほうが 大事だ
こんなに 愛して いるのに 僕を 置いて 行かないで

譜面台に「OOOO」の置手紙 客席に退場

…あのね? え? 何? ちょっと…置手紙を見て後、客席にも見せて【END】

東京

G D B7 Em C D C D

昔歩いた 表参道 懐かしさに ひたり歩いた

G D B7 Em C D C G D7

昔迷った 地下鉄路線 案内つきの 人ごみ中

G D B7 Em

おきざりにされないように ついてゆく ****

D D7 G

それが それが 東京です

G D B7 Em C D C D

東京にいて 思ったことは やっぱり人が多いことと

G D B7 Em C D C G D7

ひとりであるには 少しばかり 夜があまりに長いこと

G D B7 Em

ものめずらすさにまけて しまいそうな ****

D D7 G

それが それが 東京です

間奏

G D B7 Em C D C D

G D B7 Em C D C G

G D B7 Em C D C D

東京はやっぱり いいところで 一度は住んでみたいところ

G D B7 Em C D C G D7

誰かが ひっぱって くれさえしたら そのまま住みついてしまいたい

G D B7 Em

自分から 動かなければ やってこない ****

D D7 G

それが それが 東京です

I Shall Be Reliesed

Bob Dylan

変わっていくなんて きっとないさ 君の世界なんて ほど遠いよ
でも僕をここまで変えてくれた 昔の友がいるんだ

朝日はやってやってやって来るよ 少しずつだけどね
その時 その日こそ 自由になるんだ

奴らは 楽な方をとるのさ 誰とでも 手をつなぐんだ
でも僕はうんざりなのさ 仲良しクラブはこりごりだ

朝日はもう昇るよ 少しずつだけどね
その時 その日こそ 自由になるんだ

～間奏～

男らしいってわかるかい ピエロや臆病者のことさ
僕には聞こえるんだ 彼らの 怯えたような ささやきが

I see my light come shining From the west unto the east
Any day now, any day now I shall be released

I see my light come shining From the west unto the east
Any day now, any day now I shall be released

～間奏～

I see my light come shining From the west unto the east
Any day now, any day now I shall be released

I see my light come shining From the west unto the east
Any day now, any day now I shall be released

『落陽』 作詞：岡本おさみ 作曲：吉田拓郎

しぼったばかりの夕陽の赤が
水平線から もれている
苫小牧発・仙台行きフェリー
あのじいさんときたら
わざわざ見送ってくれたよ
おまけにテープをひろってね女の子みたいにさ
みやげにもらったサイコロふたつ
手の中でふれば
また振り出しに戻る旅に 陽が沈んでゆく

女や酒よりサイコロ好きで
すってんてんのあのじいさん
あんたこそが正直ものさ
この国ときたら
賭けるものなどないさ
だからこうして漂うだけ
みやげにもらったサイコロふたつ
手の中でふれば
また振り出しに戻る旅に陽が沈んでゆく

サイコロころがしあり金なくし
フーテン暮らしのあのじいさん
どこかで会おう生きていてくれ
ろくでなしの男たち
身を持ちくずしちまった
男の話を聞かせてよサイコロころがして
みやげにもらったサイコロふたつ
手の中でふれば
また振り出しに戻る旅に 陽が沈んでゆく
戻る旅に陽が沈んでゆく

ゼラニウム

詩・曲 田川敏明

Am Em G Am

Am Em Am Em Am Em G Am

暗い部屋で僕は 何を思うの 切りすぎた髪を かきあげる

Am Em Am Em Am Em G Am

愛と言う文字を 僕に残し ひとり旅に出て もう戻らない

Am Em Am Em

ゼラニウム 君のまなざしと こぼれおちる 不思議な笑顔が

F Fm C F Fm C

音もなく 眠りに落ちる 僕の頭の中に

Am Em Am Em Am Em G Am

探し探し疲れた 本当の愛も 耐えていくことが 幸せなのに

Am Em Am Em Am Em G Am

待ちわびの男には 思い出ばかり 今でも君のこと 愛しているよ

Am Em Am Em

ゼラニウム リンゴの香りが 愛の終わり 悲しい思い出

F Fm C F Fm C

静けさと闇がすべて やがて眠りに落ちる

～間奏～Am Em Am Em Am Em G Am

Am Em Am Em

ゼラニウム 君のまなざしと こぼれおちる 不思議な笑顔が

F Fm C F Fm C

音もなく 眠りに落ちる 僕の頭の中に

飛鳥路

詩・曲 田川敏明

～前奏～ Em Bm Em Am B7

Em Bm Em G Bm
あなたがそばにいる 古い古い都

Am Em C D7 G B7
見上げれば ああ宵闇が やまなみに落ちて

Em Bm Em G Bm
そっと手を取られ 歩く 飛鳥の路

Am Em C D7 G
思いやり やさしい心 それはあなたよ

G Am C D7 G D7
とても大きな時間を越えて 土は歴史の音がする

G D7 Em G D7 Em
手をひいて いつまでも 離さずに いつまでも

Em Bm Em G Bm
さみしさにまつげを そっと ふせていると

Am Em C D7 G B7
僕が君を好きなんだと 言われたあの日

Em Bm Em G Bm
石舞台をまわり 飛鳥川に沿って

Am Em C D7 G
こぼれだす二人の笑顔 甘がしの丘

G Am C D7 G D7
長くさみしい冬も終わり 風よ私は嫁いでいく

G D7 Em G D7 Em
手をひいて いつまでも 離さずに いつまでも

G D7 Em G D7 Em Am Em
手をひいて いつまでも 離さずに いつまでも

センチメンタル

詩・曲 田川敏明

～前奏～ Am Dm G C Am Dm E Am G6

Am Dm G C Am Dm E Am G6

長い影落として 肩すぼめて歩く 愛の光なんて 差し込まないよ

Am Dm G C Am Dm E Am

にぎやかな大通り 夏祭りの都会 優しさに包まれた 人ばかり

E AmEAm E CGC

こんな素敵な夜にあなたは 一人どこへ行こうと言うの

G C G Am E Am G6

昔あなたは もっともっと 強い人だった

～間奏～ Am Dm G C Am Dm E Am G6

Am Dm G C Am Dm E Am G6

ネオンサイン夜が 思い出をまわして あの頃の恋ごろろ 消していく

Am Dm G C Am Dm E Am

あなたはもうすでに 気がついている頃 この空の高さにも 限りあること

E AmEAm E CGC

なぜにあなたは一人になるの もう少しだけ自分に耐えて

G CGAm E Am

すべて忘れて新しい人 さがしてくれたら

G Dm G Am F E

あ～あ う～う あ～あ ふううう

～間奏～ Am Dm G C Am Dm E Am

E AmEAm E CGC

なぜにあなたは一人になるの もう少しだけ自分に耐えて

G CGAm E Am

すべて忘れて新しい人 さがしてくれたら

E AmEAm E CGC

こんな素敵な夜にあなたは 一人どこへ行こうと言うの

G C G Am E Am G6 AmG6 AmG6 AmGAm

昔あなたは もっともっと 強い人だった

卒業

詩・曲 田川敏明

～前奏～ Dm G C Am Dm G C

Dm G C Dm G C C7

あの頃の君の口癖 僕は今も覚えてるよ

Dm G C Am Dm G Am///

夕焼け図書館 そして あの長い坂

Am F G E

卒業してゆく明日 ひとつの旅の終わり

Am F G E

だから君のやさしい ぬくもりが必要だった

Dm G C Dm G C C7

外そうじ 遊んでばかりの君の姿を追うことが

Dm G C Am Dm G C C7

一日の僕の日課に なってたけれど

Dm G C Dm G C C7

それなのに それなのに 何故かうまくいかなかった

Dm G C Dm G C

それなのに それなのに 何故かうまくいかなかった

～間奏～ Am Em Am Em F C F G Am

Am F G E

人ごみのバス停で 帰りのバスを待つ

Am F G E

いつも時間通りに来ないバスだった

Dm G C Dm G C C7

まわりを気にして君は 僕に背中を向けていた

Dm G C Dm G C

その小さな後ろ姿 僕は決して忘れない

F G E Am F G E Am

忘れない 忘れられない これからも ずっと ずっと

F G EAm F G E Am

四丁目でバスを降りる 君の君の君のことを

F G F G C

元気かい

C Dm F Ab C
東京の空は 夕焼けがきれいかい そして 赤とんぼとぶかい
C Dm F Ab C
仕事はうまく こなしているかな ボーナスはいくらくらいでたの
Am Em F G7 C
お酒も少しは 飲めるようになったかい タバコは 相変わらず嫌かい
Am Em F G7 C
お前の片思い 花屋のあの娘は 今年の冬 母親になるって
C Am F G7 C
元気かい 俺も元気さ たまには はがきくらい出してくれよ
C Am F G7 C
元気かい 俺も元気さ この街には もう帰って来ないのかい

C Dm F Ab C
疲れた街に お酒を一滴 昼間は眠ってるネオンがきれいです
C Dm F Ab C
自分の弱さに ふと気づいた時 何故かおまえのこと思い出したよ
Am Em F G7 C
おいらのことかい 就職の話かい まだまだ フラフラ風来坊
Am Em F G7 C
唄うために生きても 生きるために唄うにゃ きびしすぎるそんな毎日
C Am F G7 C
元気かい 俺も元気さ ころんでも泣き寝入りは嫌だね
C Am F G7 C
元気かい 俺も元気さ だから もう少し自分ためしてみるよ
C Am F Fm C
元気かい 元気かい

蒼々花 YUKINO Capo4 KeyC#m

Am C Dm E7 Am C E+ E7
ベルを鳴らした指先に 熱き想いのあふれでる
Am C F E7 F C E7 Am G
あの日の君がいたような 信じていたい 夢見草 (そう)
C Dm C F E+ E7
思い出させてかきたてて 悪い花だよ 古都 (みやこ) 花
Am C Dm F E7 Am
焦がれて泣いてる 山野草 (さんやそう)

Am C Dm E7 Am C E+ E7
忘れな草を髪にさし 歩いてきた道 どこまでも
Am C F E7 F C E7 Am G
夢があかりの残り道 ふたりで歩く みちゆき草 (そう)
C Dm C F E+ E7
季節はずれの花一枝 (はなひとえ) 咲いてせつなく いとおしく
AmC Dm F E7 Am
摘んでたもとに しのぶ草

Am C Dm E7 Am C E+ E7
ついて来ぬかとおつむじ風 寄り添いながらコスモスが
Am C F E7 F C E7 Am G
思い出だけと首をふる 雨に濡れてる 根無し草
C Dm C F E+ E7
一緒に歩く はずれ道 こもればもれる 小春路を
Am C Dm F E7 Am
つないでいたい 恋華 (れんげ) 草
Am C Dm F E7 Am
つないでいたい 恋華 (れんげ) 草

ブルースを唄わないで 泉谷しげる

ブルースを唄わないで その気になっちまうから
楽しいやつをたのんだよ その気になるから

悲しい旅の唄は その気になっちまうから
家出の唄は好きじゃないんだ その気になるから

都会の派手さを 唄わないで その気になっちまうから
あまり夢は 与えないで その気になるから

ブルースは好きじゃないんだ その気になっちまうから
あまり唄いかけないで その気になるから

ブルースを唄わないで その気になっちまうから
楽しいやつをたのんだよ その気になるから